NTT

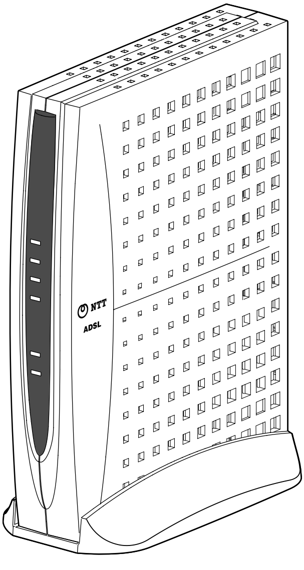
ＡＤＳＬモデム−ＭＳ５

取扱説明書

このたびは、ＡＤＳＬモデム−ＭＳ５をご利用いただきまして、まことにありがとうございます。

● ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。

● お読みになったあとも、本商品のそばなどいつも手もとに置いてお使いください。



ご使用にあたってのお願い

本商品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。本商品は家庭環境で使用することを目的としていますが、本商品をラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されますと、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

- ご使用の際は取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 本商品（取扱説明書、ソフトウェアを含む）は日本国内向仕様であり、外国の規格などには準拠しておりません。また海外で保守サービスおよび技術サービスは行っておりません。国内で使用する場合でも、日本語環境によるご利用のみのサービスとなっております。This product is designed for only use in Japan and we are not offering maintenance service and technical service of this product in any foreign country. It works properly in only Japanese Operating System.
- 本商品（ソフトウェア含む）は、外国為替および外国貿易法に定める輸出規制品に該当するため、日本国外に持ち出す場合は同法による許可が必要です。
- 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害や万一、本商品に登録された情報内容が消失してしまうことなどの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本商品に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管くださるようお願いします。
- 本商品を設置するための配線工事および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は、違法となり、また事故のもとともなりますので絶対におやめください。
- 本商品を分解したり改造したりすることは絶対に行わないでください。
- 本書に、他社商品の記載がある場合、これは参考を目的としたものであり、記載商品の使用を強制するものではありません。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、当社のサービス取扱所へお申し付けください。
- この取扱説明書、ハードウェア、ソフトウェア、および外観の内容について将来予告なしに変更することがあります。

【廃棄（または譲渡、返却）される場合の留意事項】
本商品は、お客様固有のデータを登録または保持可能な商品です。本商品内のデータ流出などによる不測の損害を回避するために、本商品を廃棄（または譲渡、返却）される際には、取扱説明書をご覧のうえ、本商品内に登録または保持されたデータを消去くださいますようお願いいたします。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。
本書を紛失または損傷した時は、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店でお求めください。

本書中のマーク説明

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
STOP お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。
お知らせ	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。

お使いになる前に（設置環境）

⚠ 警告

- 本商品やモジュラジャックや電話配線のそばに、水や液体の入った花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品などの容器、または小さな金属類を置かないでください。本商品に水や液体がこぼれたり、小さな金属類が中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品やモジュラジャックをふろ場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは設置および使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 水のかかる場所で使用したり、水に濡らすなどして使用しないでください。漏電して、火災・感電の原因となることがあります。
- テーブルタップや分岐電源コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品を直射日光の当たるところや、ストーブ、ヒータなどの発熱器のそばなど、温度の高いところに置かないでください。内部の温度が上り、火災の原因となることがあります。
- 本商品やモジュラジャックを調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所、鉄粉や有毒ガスが発生する場所、水、油、薬品がかかる恐れがある場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

お使いの時

⚠ 警告

● 万一、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから引き抜いて、煙が出なくなるのを確認して、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
● 万一、本商品を落としたり、キャビネットを破損した場合は、すぐに電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから引き抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。
● 本商品やモジュラジャックや電話配線の内部に水などの液体が入ったり、本商品を濡らした場合は、すぐに電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから引き抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。
● 本商品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから引き抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
● 異常音がしたり、キャビネットが熱くなっている状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから引き抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。
● AC100Vの家庭用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。
● 電源コードが傷んだ（芯線の露出・断線など）状態のまま使用すると火災・感電の原因となることがあります。すぐに電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから引き抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。
● 差込口が2つ以上ある壁の電源コンセントに他の電気製品の電源アダプタ（電源プラグ）を差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。
● 濡れた手で本商品やモジュラジャックや電話配線を操作したり、接続しないでください。感電の原因となることがあります。
● 電源アダプタ（電源プラグ）は必ず付属のものを使用し、それ以外のものは絶対にお使いにならないでください。火災・感電の原因となることがあります。
● 電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントに確実に差し込んでください。電源アダプタ（電源プラグ）の刃に金属などが触れると、火災・感電の原因となることがあります。
● 電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから引き抜く時は、必ず電源アダプタ（電源プラグ）を持って引き抜いてください。電源アダプタ（電源プラグ）のコードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
● 電源アダプタ（電源プラグ）は、ほこりが付着していないことを確認してから電源コンセントに差し込んでください。ほこりにより火災・感電の原因となることがあります。また、半年から１年に１回は、電源アダプタ（電源プラグ）を点検してください。なお点検は当社サービス取扱所にご相談ください。
● お近くに雷が発生したときは、電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから引き抜いてご使用を控えてください。雷によっては、火災・感電の原因となることがあります。
● 本商品の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと本商品の内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使い方はしないでください。 ・横置きにする。　・テーブルクロスなどをかける。　・じゅうたんやふとんの上に置く。 ・毛布やふとんをかぶせる。　・本棚、タンスの中、押入の中など風通しの悪い場所に置く。
● 電源コードには、延長コードは使わないでください。火災の原因となることがあります。

その他

⚠ 警告

- 本商品や電源アダプタ（電源プラグ）を分解・改造したりしないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品のキャビネットは外さないでください。感電の原因となることがあります。キャビネットを開けられた場合は、本商品の保証対象外といたします。指定以外の内部の点検・調整・清掃・修理は、当社のサービス取扱所にご連絡ください。
- 電源アダプタ（電源プラグ）のコードに傷をつけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したりすると電源アダプタ（電源プラグ）のコードが破損し、火災・感電の原因となることがあります。電源アダプタ（電源プラグ）のコードが傷んだら、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。
- 本商品やモジュラジャックに水が入ったりしないよう、また濡らさないようにご注意ください。漏電して、火災・感電の原因となります。
- 付属の電源アダプタ（電源プラグ）を本商品以外には使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品を移動させる場合は、電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから引き抜き、電話機コードを差込口から引き抜いて、外部の接続線を外したことを確認のうえ、行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

お使いになる前に（設置環境）

⚠ 注意

- ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。また、本商品の上に物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。
- 振動・衝撃の多い場所に置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。
- 本商品の前後左右3cm 、上3cmには、壁や物がない場所に縦置きで設置してください。換気が悪くなると本体内部の温度が上り、故障の原因になることがあります。
- 屋外には設置しないでください。屋外に設置した場合の動作保証はいたしません。
- 温度5℃～40℃・湿度5%～85%で、結露しない場所に設置してください。温度や湿度がこの範囲を越えたり、結露が発生すると故障の原因になります。

  結露とは、空気中の水蒸気が金属板の表面などに付着し、水滴となる現象です。本商品を寒い場所から急に暖かい場所に移動させたような時には、本体内部に結露が発生し、故障の原因となります。万一結露した場合は、電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから引き抜いた状態で放置しておき、完全に乾燥してから電源を入れてください。
- 本商品は安定した水平なところに縦置きに設置してください。
- 本商品を製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。本商品が正常に動作しないことがあります。
- 塩水がかかる場所、硫化水素、亜硫酸ガス、アンモニア等の腐食性ガスが発生する場所で使用しないでください。故障の原因となることがあります。

● 電気製品・ＡＶ ・ＯＡ 機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください（電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など）。 ・磁気や電気雑音の影響を受けると、雑音などが大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。 ・テレビ、ラジオなどに近いと、受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。 ・放送局や無線局などが近く、雑音などが大きい時は、本商品の設置場所を移動してみてください。
● 硫化水素が発生する場所（温泉地）などでは、本商品の寿命が短くなることがあります。

お使いの時

⚠ 注意

● 使用中にケーブルを誤って外さないでください。ケーブルに足など引っ掛けないでください。使用中にケーブルが抜けると、大切なデータを失うことがあります。
● 機器の電源の入り切りは、5秒間以上おいてから行ってください。本商品が正常に動作しない場合があります。
● 本商品に乗らないでください。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。こわれてけがの原因となることがあります。
● 万一、漏電した場合の感電事故防止のため、必ずアース線を取り付けてください。
● 本書に従って接続してください。間違えると接続機器や回線設備が故障することがあります。

その他

⚠ 注意

● 長期間ご使用にならない時は、安全のため必ず電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから引き抜いてください。
● お手入れをする時は、安全のため必ず電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから引き抜いてください。

日頃のお手入れ

STOP お願い

● ベンジン、シンナー、アルコールなどで拭かないでください。本商品の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどい時は、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れを拭き取り、柔らかい布でからぶきしてください。
● 落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。
● 本商品に殺虫剤などの揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール、粘着テープなどを長時間接触させないでください。変形、変色の原因になることがあります。

目　次

ＡＤＳＬモデムーＭＳ５の特長

●インターネットへの高速・常時接続

ADSL 技術の採用で、加入電話回線を使用して、高速な通信を実現しています。
本商品は以下の ADSL 標準に準拠しています。

Quad Spectrum 方式
ITU-T G.992.1 (G.dmt) Annex I/Annex C
ITU-T G.992.2 (G.lite) Annex C

※上り拡張方式/オーバーラップ方式にも対応しています。

● ADSL 拡張自動設定機能

ADSL 拡張自動設定機能を搭載しており、お客様環境で最適な ADSL 接続を自動設定することができます。

● Web ブラウザを利用した簡単設定、状態表示

Web ブラウザのメニュー形式画面から、必要な設定を簡単に行うことができます。
また、ADSL 回線ポートや LAN ポートの状態やリンク速度などを Web ブラウザで確認することができます。

●ログ蓄積機能

ADSL リンクが切断した時刻など、モデムの動作に関するログを記録しています。
Web ブラウザから参照することが可能です。

●ネットワーク設定の簡略化

DHCP サーバ機能を搭載しているため、LAN ポートに接続するパソコンのネットワーク設定を簡略化できます。

ＡＤＳＬに関するご注意

- 実際の通信速度は、パソコンの環境やプロバイダ、サーバ、接続時間帯により異なります。
- ADSL を設置している当社局舎から設置場所までが離れている場合、あるいは十分な配線設備がない場合は、十分な通信速度が出ないか、または使用できないことがあります。
- 設置場所の近くに幹線道路、線路、送電線、送信所など電波を発するものがある場合は、十分な通信速度が出ないか、または ADSL 回線による接続が途切れたりすることがあります。
- 保安器の種類などによっては、加入電話回線で着信があった場合は、ADSL 回線による接続が途切れることがあります。
- 近くにガス検知器などがあると、十分な通信速度が出ないことがあります。
- 次のような場合は、速度が遅くなることがあります。
  - ISDN 回線などのノイズ源がある場合
  - 配線のルート変更で距離が伸びた場合
  - ＡＤＳＬスプリッタで分離していても配線状況が悪い場合
- ADSL のサービス提供地域であっても、設備・回線などの都合により本商品をご利用になれない場合があります。
- 遠隔検針（ノーリンギング通信サービス）や警備保障、回線自動選択装置（ACR など）の加入電話回線を利用したサービスを利用されている場合、それらのサービスに支障をきたす場合があります。
- ADSL 区間の距離や設備状況、他回線からの影響、お客様宅内で接続されている通信設備（ACR など）の影響により、最大通信速度が当初より得られない場合や、通信速度が変動する状態または通信が利用できない状態となる場合があります。
- ADSL によるインターネット常時接続をご利用の場合、ネットワークを介して外部からの不正侵入および、情報搾取などの危険が増えます。必要に応じて、お客様のパソコン上にファイアウォールのソフトウェアをインストールするなどの対応をお願いいたします。
- 本商品はＮＴＴ東日本・ＮＴＴ西日本が提供するフレッツ・ＡＤＳＬサービス用の装置であり、他の ADSL 事業者様が提供するサービスにはご利用できません。

お客様情報に関するご注意

・ 本商品は、お客様固有のデータを登録または保持可能な商品です。本商品内のデータが流出すると不測の損害を被る恐れがありますので、データの管理には十分お気をつけください。

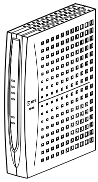
・ 本商品を廃棄（または譲渡、返却など）される際は、本商品を初期化することにより、本商品内のデータを必ず消去してください。

・ 本商品の初期化は、本書に記載された初期化方法の手順に従って実施してください。
（☞ 「4-8 設定の初期化」p.55、「5-2 初期化方法」p.67）

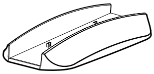
1　お使いになる前に

1-1 商品構成の確認

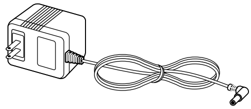
本商品には、本体および付属品が入っています。まずこれらがすべて揃っているかご確認ください。
万一、足りないものがございましたら、当社のサービス取扱所もしくはお買い上げになりました販売店までお申し付けください。



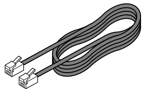
ＡＤＳＬモデム－ＭＳ５
本体　１台



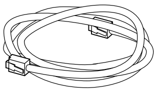
スタンド
１個



電源アダプタ
１個



電話機コード　１本
（黒色、長さ：約１.８ｍ）

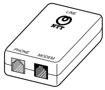


ＬＡＮケーブル　１本
（ストレート カテゴリ5、
白色、長さ：約２ｍ）

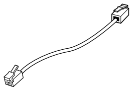


取扱説明書（本書）
１冊

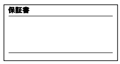
スプリッタセットのみ付属



ＡＤＳＬスプリッタ
１個



電話機コード　１本
（白色、長さ：約２０ｃｍ）



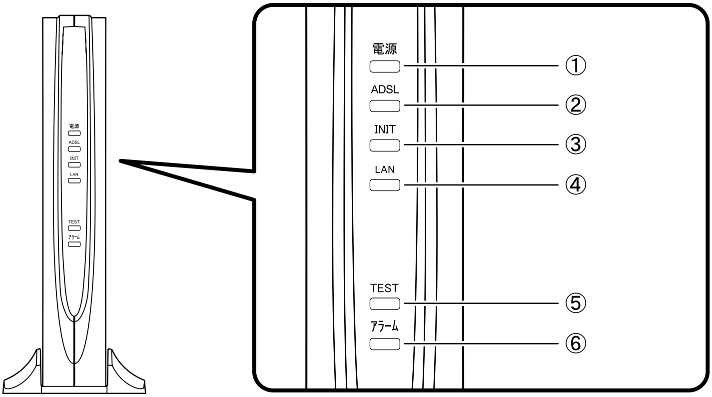
保証書　１枚

お知らせ

レンタル品の場合、保証書は付属しておりません。

1-2 ＡＤＳＬモデム－ＭＳ５の各部の名称と機能

1-2-1　前面図



ランプの名称		表示（色）		機能説明
①電源ランプ	電源の状態を示しています。	緑	点灯	通電中
		－	消灯	電源が切れている時
②ADSLランプ	ADSLリンクの状態を示しています。	緑	点灯	ADSLリンクアップ時
			点滅	トレーニング中 ADSLリンクアップ後、データが流れている時 拡張自動設定中（TESTランプ（橙色）と同時に点滅します）
		－	消灯	ADSL回線を接続していない時
③INITランプ	初期設定での動作状態を示しています。	橙	点滅	初期設定で起動している時 （ADSLがトレーニングを開始すると、消灯します）
		－	消灯	通常動作時
④LANランプ	Ethernetリンクの状態を示しています。	緑	点灯	LANリンクアップ時
			点滅	データが流れている時
		－	消灯	LANリンクダウン時
⑤TESTランプ	拡張自動設定の動作を示しています。	橙	点滅	拡張自動設定中 （ADSLランプ（緑色）と同時に点滅します）
		－	消灯	通常動作時
⑥アラームランプ	本商品のハードウェア状態を示しています。	赤	点灯	セルフテスト中
			点滅	障害時
		－	消灯	正常時

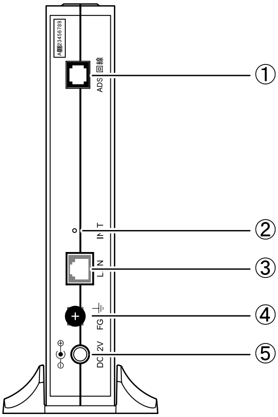
お知らせ

各ランプの状態は、本体正面からご確認ください。（正常時には、電源、ADSL および LAN ランプが緑色に点灯もしくは点滅します。）

お知らせ

拡張自動設定が動作中のときは、ADSL ランプ（緑色）と TEST ランプ（橙色）が同時に点滅します。拡張自動設定の動作については、「4-3 ADSL 設定」（☞ p.39）の拡張自動設定を行う場合を参照してください。

1-2-2　背面図



名　称	表　示	機能説明
①ADSL回線ポート（黒色）（2線式アナログ）	ADSL回線	電話機コードを使用して、ADSL回線を接続します。
②初期化スイッチ（丸穴）	INIT	電源ONの状態で5秒以上押し続けると、設定情報を初期設定に変更して再起動します。
③LANポート	LAN	LANケーブルを使用して、パソコンなどを接続します。
④アース端子	FG	アース線を接続します。
⑤電源アダプタコード端子	DC 12V	専用の電源アダプタを接続します。

お知らせ

初期化スイッチのご使用方法については、「5-2-1 初期設定での起動方法」（☞ p.67）を参照してください。

1-3 操作の流れ

本商品をお使いになる前に必要な準備や操作の大まかな流れを次に示します。

商品構成の確認

「1-1 商品構成の確認」（☞ p.11）

▼

設置と接続

「1-4 ＡＤＳＬモデムーＭＳ５の設置」（☞ p.15）
「1-5 ＡＤＳＬモデムーＭＳ５を接続する」（☞ p.16）

▼

電源を入れる

「1-6 ＡＤＳＬモデムーＭＳ５とパソコンの電源を入れる」（☞ p.18）

▼

インターネットへアクセスする

フレッツ接続ツールやパソコンのOSが持つPPPoE機能を使用して、インターネットへアクセスします。

「2 インターネットへのアクセス」（☞ p.20）

パソコンの設定をする

TCP/IPの設定を行い、Webブラウザで本商品の設定や状態の参照が行えるように準備します。

・TCP/IPの設定
「3-1 TCP/IPの設定」（☞ p.21）
「3-2 IP設定の確認」（☞ p.30）

▼

本商品の設定をする

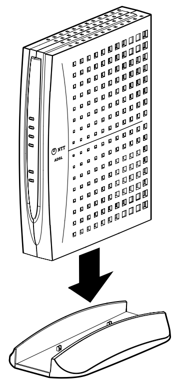
Webブラウザを使って本商品へアクセスし、設定の変更や機器状態の参照などを行います。

「4 Web設定」（☞ p.34）

1-4 ＡＤＳＬモデム－ＭＳ５の設置

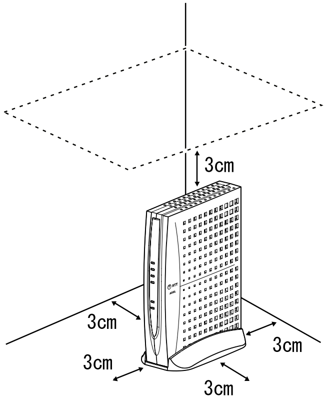
1 本商品底面に付属のスタンドを接続してください。

スタンドの突起部を本体の穴に合わせ、確実に挿入してください。



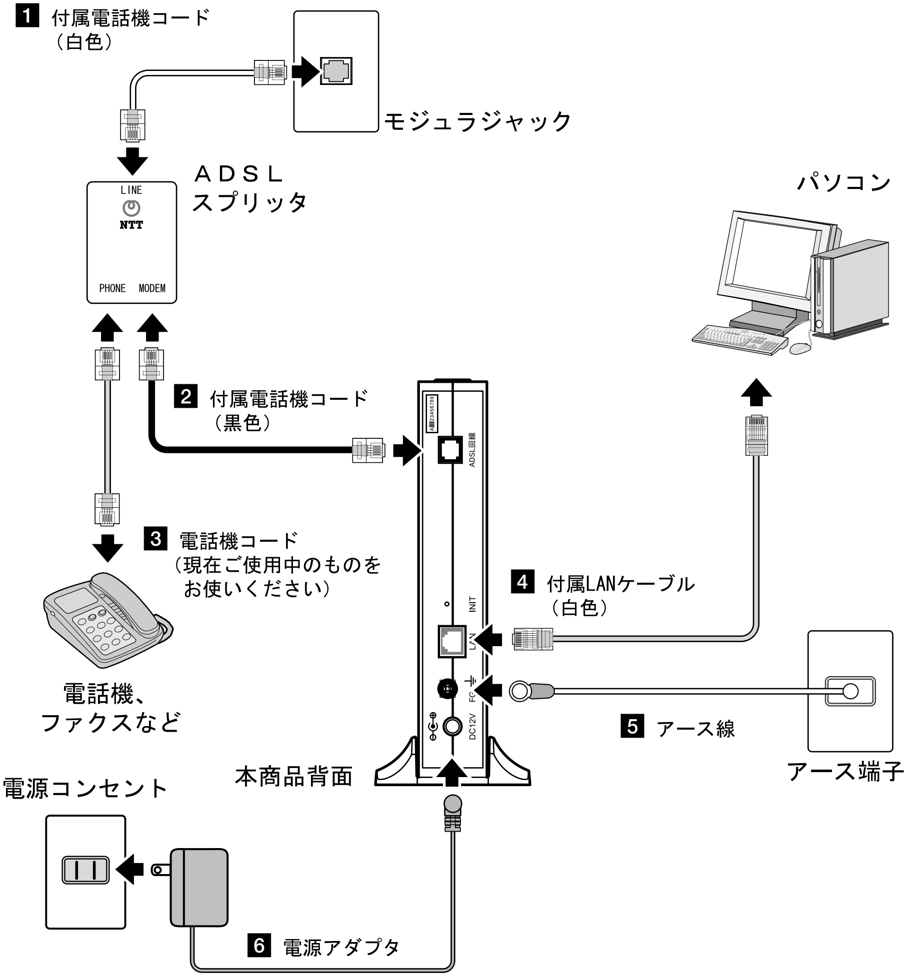
2 安定した水平なところに縦置きで設置してください。

本商品の前後左右 3cm、上 3cm には、壁や物がない場所に設置してください。



⚠ 注意
本商品は横置きでのご使用はできません。 換気が悪くなると本体内部の温度が上がり、故障の原因になります。

1-5 ＡＤＳＬモデムーＭＳ５を接続する



STOP お願い

電話機と本商品を同じ電話回線に接続する場合は、ＡＤＳＬスプリッタを接続する必要があります。電話機と本商品を同じ電話回線に接続しない場合には、ＡＤＳＬスプリッタを接続する必要はありません。本商品を、付属の電話機コードで電話回線に直接接続してください。

STOP お願い

ＡＤＳＬスプリッタは単なる分岐装置ではありません。ＡＤＳＬスプリッタには通話用の低周波と、データ通信用の高周波を分離する回路が内蔵されており、単に結線されただけの分岐装置では代用できません。

1 ＡＤＳＬスプリッタのLINEポート(白色)とモジュラジャックを、ＡＤＳＬスプリッタに付属している電話機コード（白色：20cm）で接続してください。

2 ＡＤＳＬスプリッタのMODEMポート(黒色)と本商品のADSL回線ポート(黒色)を、本商品に付属している電話機コード（黒色：1.8m）で接続してください。

3 ＡＤＳＬスプリッタのPHONEポート（灰色）に電話機を接続してください。

お知らせ
電話機接続用の電話機コードは付属しておりません。現在ご使用中の物をお使いください。

4 本商品のLANポートとパソコンまたはフレッツ・ＡＤＳＬ対応ルータを、本商品に付属しているLANケーブル（白色：2m）で接続してください。

お願い
パソコンのかわりにハブなどを使用する場合に、クロスケーブルが必要な場合があります。ハブなどの取扱説明書で、使用するLANケーブルの仕様を確認してご使用ください。

お知らせ
本商品に付属のLANケーブルは、ストレートケーブルです。

5 本商品のアース端子（FG）と壁側のアース端子を、市販のアース線で接続してください。

お知らせ
アース線は付属していません。

6 電源アダプタを本商品の電源アダプタコード端子（DC 12V）に接続します。

電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントに差し込むと、本商品の電源ランプが緑色に点灯することを確認してください。

1-6 ＡＤＳＬモデムーＭＳ５とパソコンの電源を入れる

本商品が正しく接続されているか確認した後、本商品とパソコンの電源を入れます。

1 電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントに差し込んでください。

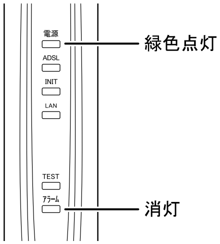
本商品に電源が入り、自動的にセルフテストが始まります。

セルフテスト中はアラームランプが点灯します。

アラームランプが消灯したら、セルフテストは完了です。セルフテストは通常 1 分弱で終了します。

電源ランプが緑色点灯し、アラームランプが消灯していれば、本商品は正常に動作しています。

その他のランプは接続状況に応じて変化します。



お知らせ

本商品が初期設定で起動している場合は、セルフテスト完了時にINITランプが橙色に点滅します。本商品の設定内容が初期設定から変更されている場合は点滅しません。

お知らせ

ADSLのトレーニングが開始されるか、本商品の設定情報を変更すると、INITランプは消灯します。

お知らせ

ADSLランプは、ADSLサービスが開始されていなければ、点滅を開始しません。また、電話機コード（黒色）が正しく接続されていなかったり、ADSL側で障害が発生していると、点灯しなかったり、点滅を繰り返したりすることがあります。

お願い

セルフテストで異常が発見されるとアラームランプが点滅します。再度、接続が正しいか見直し、電源を入れなおしてください。

状況が改善されない場合は、故障の可能性があります。

「5-1 故障かなと思ったら」（☞ p.62）で故障の内容を確認し、巻末のお問い合わせ窓口へご連絡ください。

2 パソコンを起動して、LAN ランプが点灯することを確認してください。

本商品へアクセスする場合は、パソコンの設定を行った上で、Web ブラウザからアクセスしてください。（「3 パソコンのネットワーク設定」（☞ p.21））

STOP お願い

LANランプは、パソコンのEthernetインタフェースの取り付けや設定が間違っていたり、LANケーブルが正しく接続されていないと緑色に点灯しません。

2 インターネットへのアクセス

本商品は、ADSL 側（WAN 側）の機器と LAN 側の端末（パソコンやフレッツ・ＡＤＳＬ対応ルータ）との間で、ブリッジによるデータ中継を行う装置です。

ADSL を使用してインターネットへアクセスするためには、PPPoE（PPP over Ethernet）の設定が必要となります。本商品は PPPoE 機能は搭載しておりませんので、LAN 側に接続したパソコンまたはフレッツ・ＡＤＳＬ対応ルータにて、PPPoE 機能を利用してユーザ認証をする必要があります。

ADSL サービスで使用するための PPPoE 機能は、以下の方法で提供されています。

(1) パソコンで提供される場合

①フレッツ接続ツールを使用する。

②Windows XP や MacOS Ｘの場合は、OS 自体が持つ“PPPoE”（「ユーザー名とパスワードが必要な広帯域接続を使用して接続する」）機能を使用する。

お知らせ
フレッツ接続ツールや、OS の持つ PPPoE 機能の使用方法については、フレッツ接続ツールのセットアップガイドや、各 OS のオンラインマニュアルなどをご参照ください。

(2) フレッツ・ＡＤＳＬ対応ルータで提供される場合

①ルータが持つ PPPoE 接続機能を使用する。

お知らせ
ルータの PPPoE 接続機能の使用方法については、ルータの取扱説明書などをご参照ください。

3 パソコンのネットワーク設定

本商品とご使用のパソコンをLANケーブルで接続し、パソコン上のWebブラウザから、本商品へアクセスすることができます。
本商品へのアクセスに必要なパソコンのハードウェア、ソフトウェアは以下のとおりです。

ハードウェア：
Ethernetインタフェースを持ったパソコンなど。

お知らせ
Ethernet インタフェースの取り付け方法および設定方法については、パソコン本体やEthernetカードなどに付属している取扱説明書を参照してください。

ソフトウェア：
Webブラウザは下記のバージョンに対応しています。

＜Windows XP/2000/Me/98SE/98の場合＞
・Microsoft Internet Explorer Ver.5.5以上
・Netscape Navigator Ver.7.0以上

＜Macintosh(Mac OS Ｘ以降/Mac OS 9以前)の場合＞
・Microsoft Internet Explorer Ver.5.0以上
・Netscape Navigator Ver.7.0以上

3-1 TCP/IPの設定

ご使用のパソコンから本商品にアクセスしたり、本商品を使用してインターネットへアクセスしたりするために、ご使用のEthernetインタフェースに対して、正しくTCP/IPプロトコルの設定を行います。ここでは、TCP/IP の設定方法についてご使用の OS 毎に説明します。

お知らせ
本商品は、ご使用のパソコンに対して、自動的にIPアドレスなどのTCP/IPに関連する設定を行う機能（DHCPサーバ機能）を持っています。ご使用のパソコンで、IPアドレスやDNSサーバアドレスを自動的に取得できるように設定すれば、本商品にアクセスできます。
パソコンを初期設定でお使いの場合は、ここでの設定は必要ありません。「3-2 IP 設定の確認」（☞ p.30）へお進みください。

Windows XP の場合

1 TCP/IP の設定を行ってください。

① ［スタート］→［コントロールパネル(C)］を選択してクリックしてください。

② ［コントロールパネル］画面が表示されますので、「作業する分野を選びます」から、［ネットワークとインターネット接続］のカテゴリを選択し、クリックしてください。

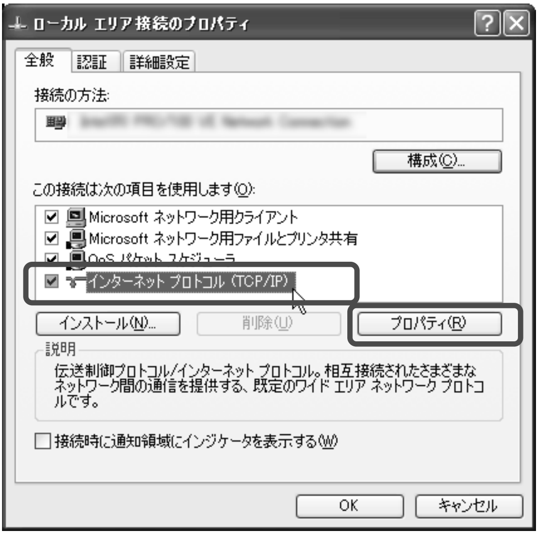
③ ［ネットワークとインターネット接続］画面が表示されますので、「コントロールパネルを選んで実行します」から、［ネットワーク接続］を選択してクリックしてください。

④ ［ネットワーク接続］画面が表示されますので、使用するネットワークアダプタ名が表示されている［ローカルエリア接続］を選択してダブルクリックしてください。

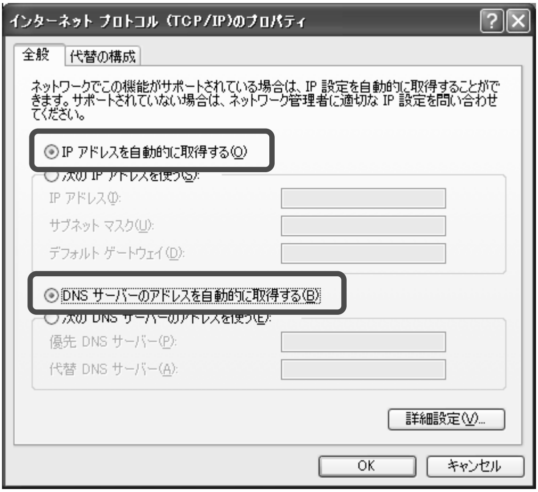
⑤ ［ローカルエリア接続の状態］画面が表示されますので、［全般］のタブから プロパティ(P) をクリックしてください。

お知らせ
パソコンのLANケーブルが抜けていたりして、Ethernetアダプタの動作が有効でないときには、［ローカルエリア接続の状態］画面は表示されません。

⑥ ［ローカルエリア接続のプロパティ］画面が表示されますので、［全般］のタブから［インターネットプロトコル（TCP/IP）］を選択してクリックし、その後で プロパティ(R) をクリックしてください。



⑦以下のような画面になりますので、［全般］のタブをクリックしてください。



⑧［IP アドレスを自動的に取得する(O)］と、［DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する(B)］を選択してください。

2 **OK をクリックし、つづいて［ローカルエリア接続のプロパティ］画面の OK （または 閉じる ）をクリックしてください。**

設定が保存され、有効になります。

お知らせ
本項で説明した手順および選択画面名称は、「カテゴリの表示」のものです。「クラシック表示」をご使用の場合は、手順や選択画面の名称が異なります。

Windows 2000 の場合

1 TCP/IP の設定を行ってください。

①［スタート］→［設定(S)］→［コントロールパネル(C)］を選択してクリックしてください。

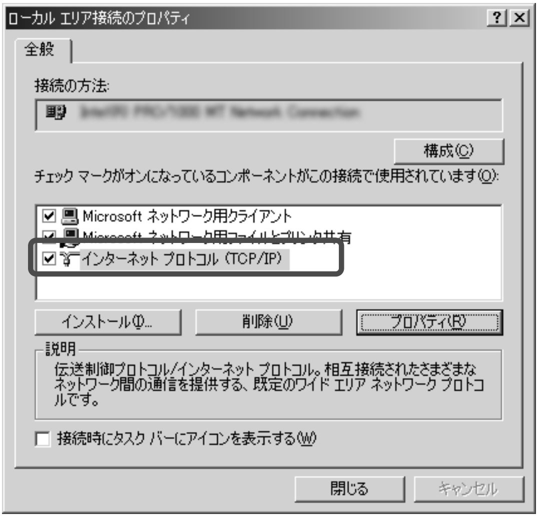
②［コントロールパネル］画面が表示されますので、［ネットワークとダイアルアップ接続］のアイコンを選択してダブルクリックしてください。

③［ネットワークとダイアルアップ接続］画面が表示されます。マウスのポインタを近づけると使用するネットワークアダプタ名が表示される［ローカルエリア接続］のアイコンを選択してダブルクリックしてください。

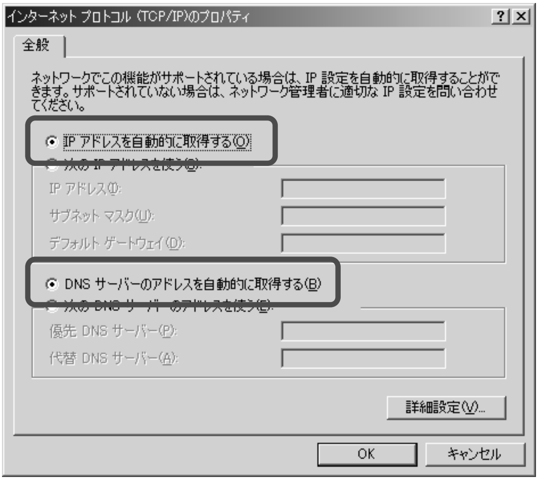
④［ローカルエリア接続 状態］画面が表示されますので、その中の プロパティ(P) をクリックしてください。

お知らせ
パソコンのLANケーブルが抜けていたりして、Ethernetアダプタの動作が有効でないときには、［ローカルエリア接続 状態］画面は表示されません。

⑤［ローカルエリア接続のプロパティ］画面が表示されますので、［全般］のタブの中から［インターネットプロトコル（TCP/IP）］を選択してクリックしてください。



⑥[インターネットプロトコル(TCP/IP)]の部分の色が変わったら、プロパティ(R) をクリックしてください。以下の画面が表示されます。



⑦[IP アドレスを自動的に取得する(O)]と、[DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する(B)]を選択してください。

2 **OK をクリックし、つづいて[ローカルエリア接続のプロパティ]画面の OK (または 閉じる)をクリックしてください。**

設定が保存され、有効になります。

Windows Me/98SE/98 の場合

1 TCP/IP の設定を行ってください。

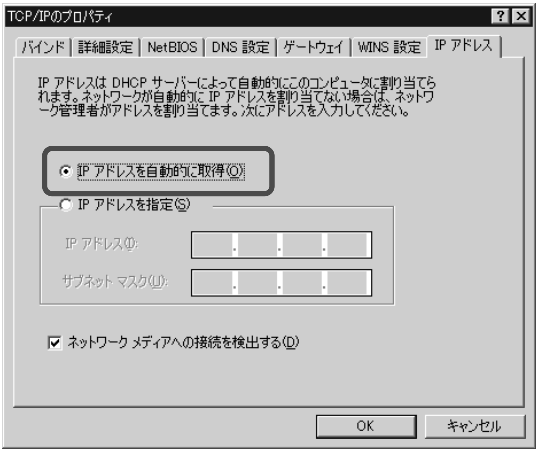
① ［スタート］→［設定(S)］→［コントロールパネル(C)］を選択してクリックしてください。

② ［コントロールパネル］画面が表示されますので、［ネットワーク］のアイコンを選択してダブルクリックしてください。

③ ［ネットワーク］画面が表示されますので、［ネットワークの設定］のタブから［TCP/IP -> （使用するネットワークアダプタ）］をクリックし、その後で プロパティ(R) をクリックしてください。



④［TCP/IP のプロパティ］画面が表示されますので、［IP アドレス］のタブから［IP アドレスを自動的に取得(O)］を選択してください。



2 OK をクリックしてください。

「再起動」を促すメッセージがパソコン上に表示されます。再起動後に、設定内容が有効となります。

お知らせ
設定内容に変更がない場合は、「再起動」を促すメッセージは表示されません。そのままパソコンをご使用ください。

Macintosh の場合（MacOS X以降）

1 **アップルメニュー()から［システム環境設定］を選択してクリックしてください。**

［システム環境設定］画面が表示されますので、［インターネットとネットワーク］から［ネットワーク］のアイコンをクリックしてください。［ネットワーク］画面で、［TCP/IP］画面が表示されます。

（この画面は、Mac OS X version 10.3 のものです）



2 **［表示］、［IPv4 を設定］に次の内容を選択した後、画面を閉じてください。**

・表示　　　　：内蔵 Ethernet
・IPv4 を設定 ：DHCP サーバを参照

3 **保存の確認画面が表示されたら、はい をクリックしてください。**

設定内容が保存され、有効になります。

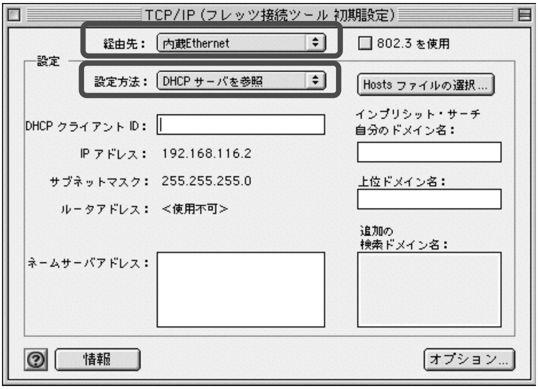
お知らせ
設定内容に変更がない場合は、保存の確認画面は表示されません。そのままパソコンをご使用ください。

Macintosh の場合（MacOS 9 以前）

1 アップルメニュー（）の［コントロールパネル］から［TCP/IP］を選択してクリックしてください。

［TCP/IP］画面が表示されます。

（この画面は、Mac OS 9.0.4 のものです）



2 ［経由先］、［設定方法］に次の内容を選択した後、画面を閉じてください。

・経由先　　：内蔵 Ethernet
・設定方法　：DHCP サーバを参照

3 保存の確認画面が表示されたら、はい をクリックしてください。

設定内容が保存され、有効になります。

お知らせ
設定内容に変更がない場合は、保存の確認画面は表示されません。そのままパソコンをご使用ください。

3-2 IP設定の確認

ここで示す手順に従って、パソコンに割り当てられた IP アドレスを確認してください。

STOP お願い

IP 設定を確認して、適切な IP アドレスが割り当てられていないときには、本商品へのアクセスができません。IP アドレス情報の更新を行ってください。IP アドレス情報の更新を行っても正しい IP アドレスが割り当てられない場合は、次の点を確認したうえでパソコンの再起動を行ってください。

・LAN ケーブルが正しく接続されているか（LAN ランプは点灯しているか）
・TCP/IP プロトコルは正しく設定されているか（「3-1 TCP/IP の設定」 p.21）
・Ethernet カードなどが正しく取り付けられ、設定されているか

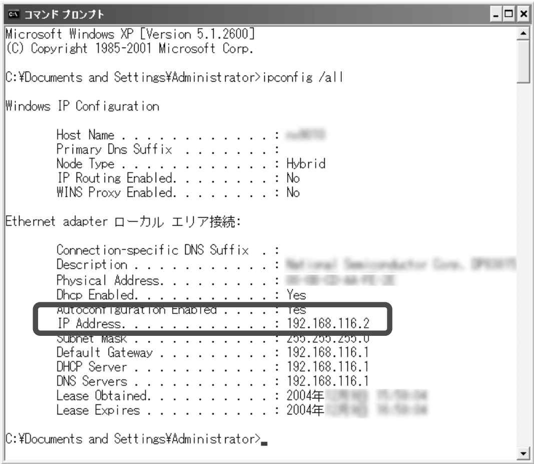
Windows XP/2000 の場合

1 ［スタート］→［すべてのプログラム(P)］（Windows 2000 の場合は［プログラム(P)］）→［アクセサリ］→［コマンドプロンプト］を選択してクリックしてください。

［コマンドプロンプト］画面が表示されます。

2 「ipconfig　/all」と入力し、Enter キーを押してください。

TCP/IP の設定内容が「IP Address」の行に表示されます。

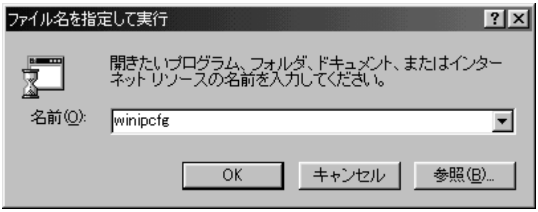


3 パソコンに割り当てられた IP アドレス情報が正しくなかった場合は、
「ipconfig /release」と入力し、Enter キーを押した後で、
「ipconfig /renew」と入力し、Enter キーを押して、IP アドレスを更新してください。

Windows Me/98SE/98 の場合

1 ［スタート］→［ファイル名を指定して実行(R)］をクリックしてください。

［ファイル名を指定して実行］画面が表示されます。



2 入力欄に「winipcfg」と入力し、 OK をクリックしてください。

［IP 設定］画面が表示され、TCP/IP の設定内容が表示されます。



3 ［IP 設定］画面のプルダウンメニューから、使用するネットワークアダプタを選択してください。

4 パソコンに割り当てられた IP アドレス情報が正しくなかった場合は、［IP 設定］画面から、［解放(S)］→［書き換え(N)］の手順で更新してください。

Macintosh（MacOS Ｘ以降）の場合

1 アップルメニュー()から［システム環境設定］を選択してクリックしてください。

2 ［システム環境設定］画面が表示されますので、［インターネットとネットワーク］から［ネットワーク］のアイコンをクリックしてください。

［ネットワーク］画面で、［TCP/IP］画面が表示されます。

（この画面は、Mac OS Ｘ version 10.3 のものです）



3 IP アドレスなどが正しく表示されていることを確認してください。

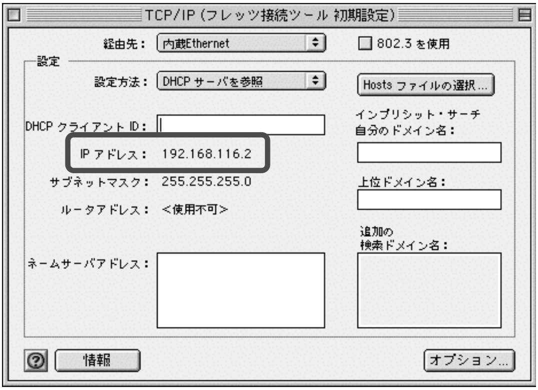
お知らせ
MacOSの場合、コマンドを使ってIPアドレス情報を更新することはできません。
LANケーブルを抜き差しするか、パソコンを再起動してください。

Macintosh（MacOS 9 以前）の場合：

1 アップルメニュー（）から［コントロールパネル］→［TCP/IP］をクリックしてください。

［TCP/IP］画面が表示されます。

（この画面は、Mac OS 9.0.4 のものです）



2 IP アドレスなどが正しく表示されていることを確認してください。

お知らせ
MacOSの場合、コマンドを使ってIPアドレス情報を更新することはできません。LANケーブルを抜き差しするか、パソコンを再起動してください。

4 Web設定

本商品にパソコンの Web ブラウザを使ってアクセスして、設定の変更や、ご使用中の機器状態の確認などを行うことができます。

4-1 設定Web画面の表示

Web ブラウザで本商品にアクセスすることにより、管理メニューが表示されます。

お願い
フレッツ・ＡＤＳＬ対応ルータを経由して、本商品へアクセスすることはできません。
本商品とパソコンを直接 LAN ケーブルで接続して、アクセスを行ってください。

1. Web ブラウザを起動してください。
2. Web ブラウザのアドレス欄に、下記のアドレスを入力し、Enter キーを押してください。

http://ntt.setup/



お知らせ
http://192.168.116.1/（初期設定の場合）でもアクセスすることができます。

ネットワークパスワードの入力画面が表示されます。



※ご使用の Web ブラウザや OS のバージョンによって画面表示は異なりますが、入力が必要な項目は同じです。

お願い

ご使用のパソコンの DNS サーバアドレスとして本商品の IP アドレスが指定されていなければ、http://ntt.setup/でアクセスできません。このような場合は、http://192.168.116.1/（初期設定の場合）のように、本商品の IP アドレスを直接入力してください。

3 次のユーザー名およびパスワードを入力し、 OK をクリックしてください。

・ユーザー名：user
・パスワード：user



お願い

このユーザー名、パスワードは、初期値です。運用開始時にはセキュリティの観点から、ユーザー名とパスワードは、変更することをお勧めします。変更方法については「4-5 ログインパスワードの設定」（☞ p.48）を参照してください。
なお、IPアドレスやログインパスワードを忘れた場合は、「5-2-1 初期設定での起動方法」（☞ p.67）を参照し、初期設定に戻してご使用ください。

4 本商品の管理メニューが表示されます。

管理メニューは、メニューフレームと操作フレームに分かれています。
メニューフレームから、「設定」「表示」「保守」の各メニューを選択すると、操作フレームに設定ページや関連情報が表示されます。



メニューフレーム　　　　　　　操作フレーム

お知らせ

操作フレーム右上にある マークをクリックすると、各ページのヘルプが表示されます。

お知らせ

説明に使用している画面表示は、お使いのWebブラウザやOSのバージョンによって異なります。

お知らせ

お使いのWebブラウザやWebブラウザの設定により、説明されている操作を行った際に、Webブラウザが以前に保存していた内容を表示する場合があります。この場合は、Webブラウザのインターネット一時ファイル（キャッシュ）を削除してから、画面を更新してください。
（詳しくは、各Webブラウザのヘルプをご参照ください。）

お知らせ

回線の状況や設定によっては、設定内容がWebブラウザに表示されるまでに時間がかかる場合があります。

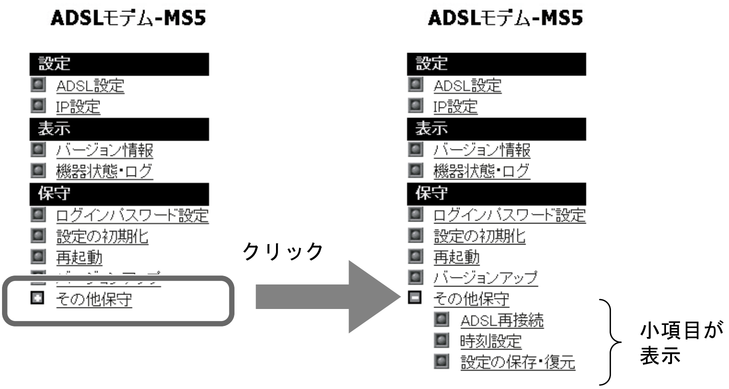
お知らせ

Webブラウザの （戻る）、 （進む）や、 （更新）のボタンを使用しないでください。本商品への操作が正しく行われない場合があります。

小項目の設定

メニューは階層化されています。
左側に （プラス）マークがあるメニューをクリックすると、メニューの小項目が表示されます。

お知らせ
このとき、 （プラス）マークは （マイナス）マークに変わります。



お知らせ
メニュー構成については「4-2 メニュー一覧」（☞ p.38）をご参照ください。

お知らせ
本書ではメニュー間の移動を矢印で表現しています。
例） その他保守 → ADSL 再接続 をクリックしてください。

4-2 メニュー一覧

本商品には以下のメニュー項目を用意しています。
メニューは階層化されており、大項目をクリックするとツリー構造で小項目が表示されます。

お知らせ
本書ではメニュー間の移動を矢印で表現しています。
例） その他保守 → ADSL 再接続 をクリックしてください。

設　定

大項目	小項目	内　容
ADSL設定	－	ADSLに関する設定を行います。
IP設定	－	本商品へアクセスするためのIP通信に関する設定を行います。通常のご使用において本画面による設定変更は必要ありません。ネットワーク構成によっては設定の変更が必要となります。

表　示

大項目	小項目	内　容
バージョン情報	－	本商品のハードウェアとソフトウェアに関するバージョン情報を表示します。
機器状態・ログ	－	本商品の状態、および本商品で発生したイベントのログを表示します。

保　守

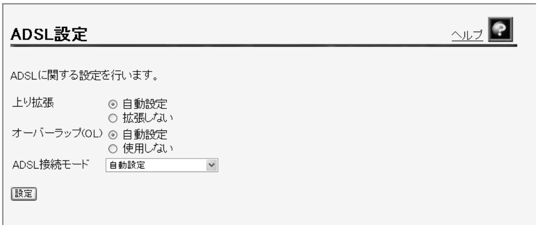
大項目	小項目	内　容
ログイン パスワード設定	－	本商品にWebでアクセスする際に使用するユーザ名とパスワードを設定します。
設定の初期化	－	本商品に保存されている、ユーザ名、パスワードを含むすべての設定内容（時刻設定を除く）を、ご購入時と同じ状態にします。
再起動	－	本商品をリセットし、再度電源を入れます。
バージョンアップ	－	Webブラウザを使用して、ファームウェアをバージョンアップします。
その他保守	ADSL再接続	ADSLの接続を一旦切断し、再接続します。ADSL回線のリンク速度が一時的なノイズの発生などにより低下した場合に行うと、リンク速度を回復できることがあります。
	時刻設定	本商品の時刻を設定します。設定した時刻にあわせてログ時間が表示されます。本設定は、本商品の電源を切るまで有効です。
	設定の保存・復元	現在の設定内容をパソコン上に保存したり、保存した設定内容を再読み込みします。

4-3 ADSL設定

本商品で使用する ADSL 接続に関する設定を行います。

1 メニューフレームの ADSL 設定 をクリックしてください。

操作フレームに ADSL 設定画面が表示されます。



● ［上り拡張］

・自動設定
ADSL 回線の設定にあわせて、上り帯域を自動的に選択して動作します。

・拡張しない
ADSL 回線の設定に関わらず、常に上り帯域は拡張せずに動作します。

初期値には、「自動設定」が設定されています。

● ［オーバーラップ(OL)］

・自動設定
お客様の線路状況にあわせて、オーバーラップ方式を「使用する」・「使用しない」を自動的に選択して動作します。

・使用しない
オーバーラップ方式を使用しません。

初期値には、「自動設定」が設定されています。

● ［ADSL 接続モード］

設定を変更することにより、ADSL 回線のリンク速度を向上させたり、ADSL 回線を安定化させたりすることができます。
初期値には、「自動設定」が設定されています。

STOP **お願い**

通常は、「自動設定」を選択してご使用ください。
ご利用のサービスタイプに合わせて、ADSL伝送距離に応じた接続モード選択を自動で行います。

お知らせ

Quad固定（超近距離）、G.dmt固定(近距離)、G.dmt固定(中距離)、長延化モードまたはG.lite固定を選択することも可能です。
電話局からの距離（電話線の長さ）は、回線のノイズ状態などによって異なりますが、次の距離を目安としてください。

2km未満	：超近距離
3km程度以下	：近距離
1km〜5km程度	：中距離
3km程度以上	：遠距離（長延化モード）

ただし、Quad固定（超近距離）、G.dmt固定(近距離)、G.dmt固定(中距離)または長延化モードを選択した場合は、ご使用の条件によっては接続できないこともあります。
その場合は「自動設定」を選択してご使用ください。

・自動設定
契約サービスや回線状態に応じて、局側装置が適した接続モードを自動的に選択します。比較的短時間でADSLリンク確立します。

・拡張自動設定(下り優先)
契約サービスや回線状態に応じて、複数の接続モードでADSLリンク確立を実行し、下り速度が最大になる接続モードでリンク確立します。ご使用の回線状態によって、最大20分程度の時間を要することがあります。この間、インターネットへのアクセスは利用できなくなります。

お願い

ご契約のADSLサービスによっては、拡張自動設定機能が使用できない場合があります。その場合は、「自動設定」を選択してご使用ください。

・拡張自動設定(上り優先)
契約サービスや回線状態に応じて、複数の接続モードでADSLリンク確立を実行し、上り速度が最大になる接続モードでリンク確立します。ご使用の回線状態によって、最大20分程度の時間を要することがあります。この間、インターネットへのアクセスは利用できなくなります。

お願い

ご契約のADSLサービスによっては、拡張自動設定機能が使用できない場合があります。その場合は、「自動設定」を選択してご使用ください。

・Quad固定(超近距離)
局側装置の設定に関わらず、Quad Spectrum方式が使用されます。
本商品が電話局から超近距離(2km 未満)に設置されている場合に適しています。

・G.dmt固定(近距離)
局側装置の設定に関わらず、G.992.1 Annex Iが使用されます。
本商品が電話局から近距離(3km 程度以下)に設置されている場合に適しています。

・G.dmt 固定(中距離)
局側装置の設定に関わらず、G.992.1 Annex C が使用されます。
本商品が電話局から中距離(1〜5km 程度)に設置されている場合に適しています。

・長延化モード
局側装置の設定に関わらず、G.992.1 Annex C FBMsOL または LD-TIF が使用されます。
本商品が電話局から遠距離(3km 程度以上)に設置されている場合に適しています。

・G.lite 固定
局側装置の設定に関わらず、G.992.2 Annex C が使用されます。
回線に AM ラジオ放送波などのノイズが多い場合に適しています。
ただし、下り回線速度は最大で約 1.5Mbps となります。

お知らせ

[上り拡張][オーバーラップ(OL)]で設定した内容によって、[ADSL接続モード]で選択できる項目が異なります。

2 設定 をクリックしてください。

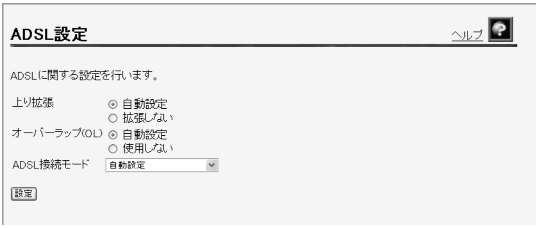
ADSL が再接続され、指定された接続方式でリンクアップを試みます。

拡張自動設定を行う場合

拡張自動設定を行うことで契約サービスや回線状況に応じて複数のモードで接続を行い、［ADSL 接続モード］の設定により、下りまたは上りのリンク速度が最大となるモードを自動的に選択してリンクアップされます。

1 **メニューフレームの ADSL 設定 をクリックしてください。**

操作フレームに ADSL 設定画面が表示されます。

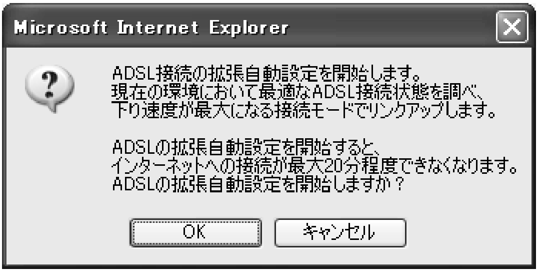


2 **［ADSL 接続モード］から「拡張自動設定（下り優先）」または「拡張自動設定（上り優先）」を選択し、 設定 をクリックしてください。**

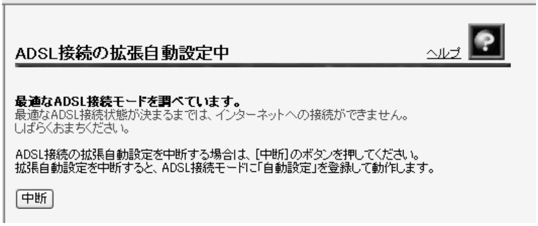
以下の手順では、「拡張自動設定（下り優先）」を選択した場合を例に説明します。



確認のための画面が表示されます。 OK をクリックしてください。



3 ADSL 接続の拡張自動設定中の画面が表示されて、最適な ADSL 接続モードを調べます。



お知らせ

最適なADSL接続状態が決まるまでは、インターネットへのアクセスができません。

お知らせ

拡張自動設定中は、ADSLランプ（緑色）とTESTランプ（橙色）が同時に点滅します。また、メニューフレームにはADSL設定、バージョン情報および機器状態・ログのみ表示されます。

お知らせ

拡張自動設定を中断する場合は、 中断 をクリックしてください。ADSL接続モードを「自動設定」にして、ADSL設定の画面に戻ります。

4 拡張自動設定が終了すると次のような画面が表示されます。

この結果を ADSL 接続モードの設定値として反映する場合は、 設定 をクリックしてください。

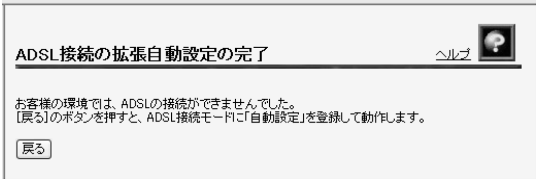
この結果を ADSL 接続モードの設定値として反映しない場合は、 取消 をクリックしてください。 設定 または 取消 をクリックすると、ADSL 設定の画面に戻ります。



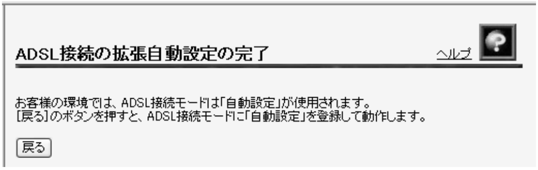
お知らせ

拡張自動設定は、各モードでの接続状態を確認した後で、最終的に選択されたモードで再度接続を試みます。ADSLの接続状態は、時間によっても変化しますので、「拡張自動設定の結果：」欄に表示されている接続速度と、「お客様の設定環境では、以下の接続が使用されています。」欄に表示されている最終的な接続速度は異なる場合があります。

調査の結果、どの接続モードでもリンクアップしなかった場合は、次のような画面が表示されます。 戻る をクリックすると、ADSL 接続モードを「自動設定」にして、ADSL 設定の画面に戻ります。



なお、ご契約の ADSL サービスによっては、拡張自動設定機能が使用できない場合があります。この場合は、次のような画面が表示され、「自動設定」のモードで ADSL 接続を行います。 戻る をクリックすると、ADSL 接続モードを「自動設定」にして、ADSL 設定の画面に戻ります。



お知らせ

ADSL接続の拡張自動設定の完了の各画面で 設定 、 取消 または 戻る をクリックすると、メニューフレームの表示は元に戻ります。

4-4 IP設定

本商品にアクセスするために使用するIPに関する設定を行います。通常のご使用において本画面による設定変更はありません。
ネットワーク構成によっては設定の変更が必要となりますが、その場合は、以下の手順に従って正しい内容で設定してください。

1 メニューフレームの IP設定 をクリックしてください。

操作フレームにIP設定の画面が表示されます。



● ［モデム用IPアドレス/マスク長］
本商品にアクセスするためのモデム用 IP アドレス／マスク長を入力してください。マスク長とはマスクのビット数を表したもので、例えば 255.255.255.0 のマスク長は「24」となります。
初期値には、「192.168.116.1/24」が設定されています。

お願い

フレッツ・オフィスやフレッツ・グループアクセスなどを利用して、プライベートネットワークを構築する場合で、正しく通信できないことがあります。このような場合は、本商品のモデム用IPアドレスを他と重複しないIPアドレスに設定変更してご使用ください。

● ［DHCP サーバ機能］

DHCP サーバ機能を使用して、LAN 側のパソコンに IP アドレスの自動割り当てを行うかどうかを選択してください。
初期値には、「使用する」が設定されています。

・使用する
・使用しない

お願い

LAN側のネットワークに他のDHCPサーバが存在する場合は、「使用しない」を選択するなどの設定変更を行ってください。正しいIPアドレスが割り当てられず、本商品へアクセスできない場合があります。

● ［開始 IP アドレス］

LAN 側のパソコンなどに割り当てる IP アドレスを入力してください。
初期値には、「192.168.116.2」が設定されています。

お知らせ

モデムに設定したIPアドレスと、同じサブネットワークに属するアドレスを設定してください。

● ［割当て個数］

開始 IP アドレスより、何個分の IP アドレスを LAN 側のパソコンのために確保するかを指定してください。
初期値には、「16」が設定されています。

お知らせ

開始IPアドレスが「192.168.116.2」で、割り当て個数が「16」の場合（初期設定の場合）、LAN側で使用できるIPアドレスは以下のように確保されます。

192.168.116.2
192.168.116.3
:
192.168.116.17

お知らせ

［モデム用IPアドレス/マスク長］で指定されたマスク長の値に応じて、最大256まで記述することができます。
マスク長が「24」で設定されている場合は最大253まで設定できます。

● ［リース期間］

DHCP サーバから割り当てられた IP アドレスの有効時間を、1〜1440 分の間で指定してください。
初期値には、「60」（分）が設定されています。

お知らせ

パソコンを継続的に使用する場合は、リース期間の半分が経過した時点で、同じIPアドレスが自動的に再リースされます。

● ［IP パケット］

ご使用のサービス内容によっては、PPPoE 機能を使用せず、IP パケット（IPv4、IPv6）でパソコンがプロバイダなどとデータのやり取りを行う場合があります。
このようなサービスをご使用の場合は、「通す」を選択してください。
初期値には、「通す」が設定されています。

2 **設定 をクリックしてください。**

設定内容が保存されます。

STOP お願い

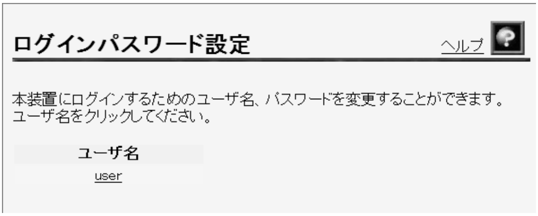
再起動を促すメッセージが表示された場合、設定を反映させるために再起動を行ってください。アラームランプが消灯して再起動したことを確認した後、再表示 をクリックし、本商品に再度アクセスしてください。

4-5 ログインパスワード設定

本商品へアクセスするためのユーザ名、パスワードを変更します。

1 メニューフレームの ログインパスワード設定 をクリックしてください。

操作フレームにログインパスワード設定の画面が表示されます。



2 user をクリックしてください。

ログインパスワード変更の画面が表示されます。



3 ［ユーザ名］にユーザ名を、［パスワード］および［パスワードの確認入力］にパスワードを入力してください。

お知らせ
32 文字以内の半角英数文字および記号が使用できます。ただし、< > ¥ ’ ” ? & % = : ; @ / は使用できません。大文字と小文字は区別されます。

お知らせ
パスワードおよびパスワードの確認入力欄の入力文字は、すべて”●”や”＊”に置き換わって表示されます。

お知らせ
パスワードの確認入力欄で異なるパスワードを入力した場合は、エラー画面が表示されます。パスワード、パスワードの確認入力欄の入力操作をやり直してください。

お知らせ
ユーザ名またはパスワードを空白にすることができません。また、スペースのみで設定することもできません。

4 設定 をクリックしてください。

お願い
設定内容をフラッシュメモリに書き込みます。
書き込み中は、前面のADSL、PPPおよび、アラームの各ランプが点滅します。ランプの点滅が終わり、Web画面表示が切り替わるまでは、本商品の電源を切らないようにしてください。フラッシュメモリへの書き込み中に電源を切ると、本商品が動作しなくなります。

お知らせ
新しいユーザ名、パスワードが設定されると、別の画面に移るときにネットワークパスワードの入力ダイアログボックスが表示されます。
「4-1　設定Web画面の表示」（☞ p.34）
新しく設定したユーザ名、パスワードを入力すると、引き続いてWebブラウザによる操作ができます。

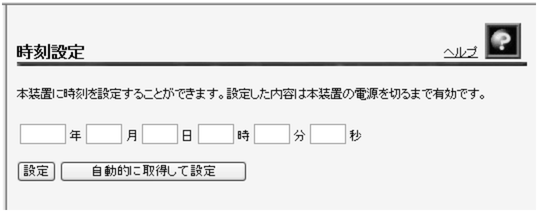
お知らせ
設定したログインユーザ名やパスワードを忘れて、本商品へアクセスできなくなった場合は、初期設定で起動することができます。「5-2-1 初期設定での起動方法」（☞ p.67）を参照してください。

4-6 時刻設定

本商品の時刻を設定します。

1 **メニューフレームの その他保守 → 時刻設定 をクリックしてください。**

操作フレームに時刻設定の画面が表示されます。



2 **本商品の時刻を設定して、 設定 をクリックしてください。**

現在接続中のパソコンの時計から時刻を取得して設定する場合は、 自動的に取得して設定 をクリックしてください。

お知らせ
局側の設備によっては、自動的に時刻設定されます。その場合は、手動による時刻設定を行う必要はありません。（最後に設定された時刻が有効になります。）

お知らせ
設定された時刻は本商品の電源を切るまで有効です。電源を切らずに再起動する場合は、設定内容は保存されます。

お知らせ
時刻表示はあくまで目安としてご利用ください。なお、誤差が生じた場合は再度設定を行ってください。

4-7 設定の保存・復元

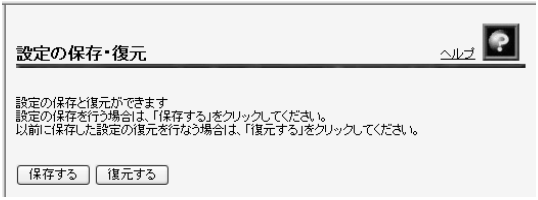
これまでに設定した各種内容は、すべて本商品のフラッシュメモリ内に、ユーザ設定として保存されています。
設定の保存を行うと、ユーザ設定をファイルに保存し、その内容で元の設定に戻すことができます。

お知らせ

使用している画面表示は、ご使用の Web ブラウザや OS のバージョンによって異なりますが、手順や、入力する内容は変わりません。

メニューフレームの その他保守 → 設定の保存・復元 をクリックしてください。

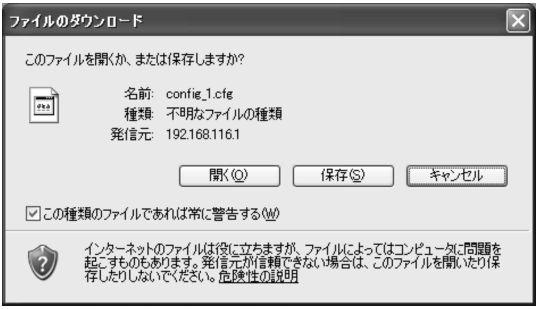
操作フレームに設定の保存・復元の画面が表示されます。



設定内容を保存する場合

1 保存する をクリックしてください。

ファイルのダウンロードの画面が表示されます。



2 保存(S) をクリックしてください。

名前をつけて保存の画面が表示されます。



3 保存する場所を選択し、ファイル名を入力した後、保存(S) をクリックしてください。

ファイルが保存され、バックアップ作業が終了します。

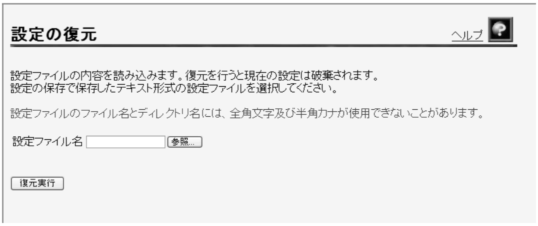


4 閉じる をクリックしてください。

保存内容を復元する場合

ファイルに保存した設定内容を再び本商品に戻すことができます。

1 **復元する をクリックしてください。設定の復元の画面が表示されます。**

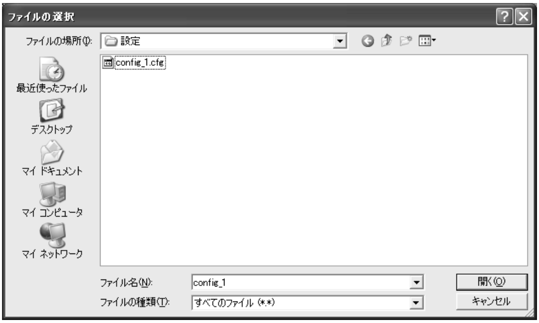


2 **設定ファイル名を指定してください。**

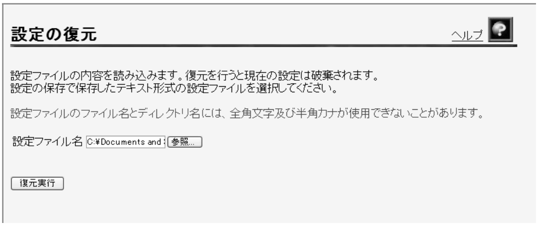
① 参照… をクリックしてください。
ファイル選択画面が表示されます。

②「ファイルの種類(T)」欄に「すべてのファイル(*.*)」を指定し、ファイルを置いたディレクトリ（フォルダ）に移動してください。

③ファイルを選択し、開く(O) をクリックしてください。

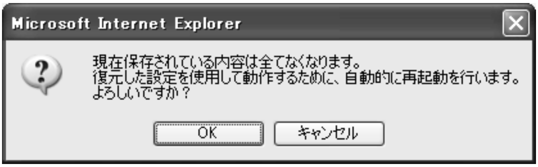


設定ファイル名欄にファイル名が表示されます。



3 復元実行 をクリックしてください。

確認のための画面が表示されます。



4 OK をクリックしてください。

アップロードが完了すると自動的に再起動を行い、再表示を促すページが表示され、アラームランプが消灯すれば再起動は完了です。
再表示 をクリックして画面を再表示してください。復元された設定で動作します。

お願い

設定内容をフラッシュメモリに書き込みます。書き込み中（Web画面表示が切り替わるまで）は、本商品の電源を切らないようにしてください。フラッシュメモリへの書き込み中に電源を切ると、本商品が動作しなくなります。

お知らせ

設定内容はすべてアップロードされた設定ファイルにより上書きされます。

お知らせ

設定ファイルのディレクトリ（フォルダ）名、ファイル名には半角英数記号文字を使用し、全角文字および半角カナを使用しないでください。設定ファイルが復元できない場合があります。

お知らせ

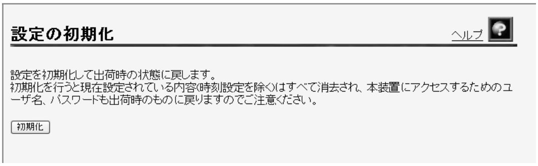
ディレクトリ（フォルダ）名やファイル名には、￥ ／ ： ＊ ？ ″ ＜ ＞ ｜ は使用できません。

4-8 設定の初期化

設定を間違えてやり直したい場合などに、初期設定に戻すことができます。

1 メニューフレームの 設定の初期化 をクリックしてください。

操作フレームに設定の初期化画面が表示されます。



2 初期化 をクリックしてください。

確認の画面が表示されます。



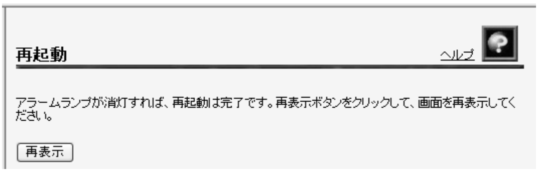
3 OK をクリックしてください。

本商品が再起動し、初期化が完了します。初期値は、初期設定一覧（☞「5-2-2 初期設定内容一覧」 p.68）を参照してください。

お願い

設定内容をフラッシュメモリに書き込みます。書き込み中は、前面のADSL、INIT、LAN、TESTおよびアラームの各ランプが点滅します。
ランプの点滅が終わり、Web画面表示が切り替わるまでは、本商品の電源を切らないようにしてください。フラッシュメモリへの書き込み中に電源を切ると、本商品が動作しなくなります。

4 再表示 をクリックしてください。



お知らせ

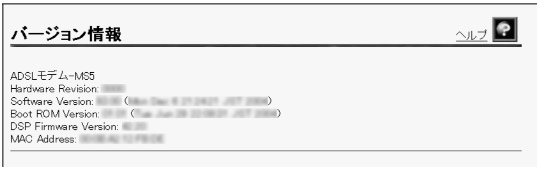
一旦設定された時刻は電源を切るまで有効ですので、ここで初期化および再起動の操作を行っても、時刻設定は初期化されません。

4-9 バージョン情報

本商品のバージョン情報一覧を参照できます。

1 メニューフレームの <u>バージョン情報</u> をクリックしてください。

操作フレームにバージョン情報の画面が表示されます。



設定されているファームウェアのバージョン情報が表示されます。

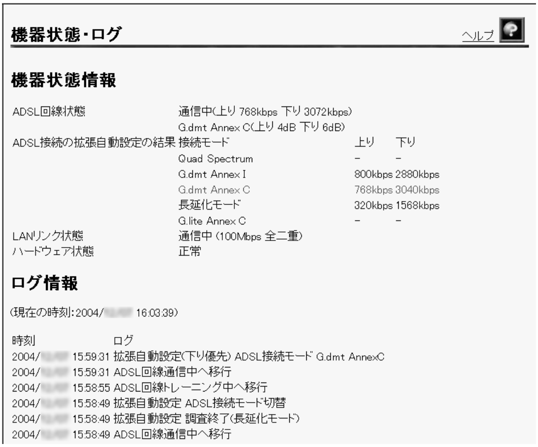
4-10 機器状態・ログ

通信が途切れた時など、障害の有無を参照することができます。
また、ログ内容により機器状態の変化を知ることができます。

お知らせ
ADSL 回線状態で表示されるリンク速度は、実際のスループットとは異なります。

1 メニューフレームから、機器状態・ログ をクリックしてください。

操作フレームに機器状態・ログ画面が表示されます。



機器状態情報では、以下の情報が参照できます。

● [機器状態情報]

・ADSL 回線状態
現在使用中の ADSL 回線の状態が表示されます。

「通信中」・・・・・・・・・ 局側装置との ADSL リンクが確立しています。
接続モード（Quad Spectrum/G.dmt Annex I/G.dmt AnnexC/G.dmt Annex C(FBMsOL)/LD-TIF/G.lite Annex C）と上り、下りのリンク速度、ノイズマージンも表示されます。

「拡張自動設定中」・ 拡張自動設定の実行中です。拡張自動設定が完了するまでは、インターネットへのアクセスはできません。

「トレーニング中」・ 局側装置と接続を確立するためのトレーニングを実行中です。

「接続待ち」・・・・・・・ 局側装置の応答待ちです。

「アイドル」・・・・・・・ 停止しています。

・ADSL 接続の拡張自動設定の結果

ADSL 接続の拡張自動設定を実行した後に、接続モードごとの上り、下りのリンク速度が表示されます。拡張自動設定で選択された接続モードは、赤字で表示されます。リンクアップしなかった接続モードについては、上り、下りのリンク速度の欄に「×」が表示され、試行しなかった接続モードについては、「ー」が表示されます。

なお、拡張自動設定の実行中は「動作中」と表示されます。また、拡張自動設定を実行していない場合や、拡張自動設定の結果が保存されていない場合は「結果なし」と表示されます。

・LAN リンク状態

Ethernet LAN インタフェースのリンク状態が表示されます。

「通信中」……… 接続が確立しています。
動作モード（10Mbps/100Mbps、全二重/半二重）も合わせて表示されます。

「停止中」……… 接続機器とのリンクが確立していません。

「異常」………… 何らかの異常が発生し、停止しています。

・ハードウェア状態

本商品のハードウェア状態が表示されます。

「正常」………… ハードウェアに問題はありません。
「異常」………… 何らかの異常が検知されています。

● ［機器状態情報］

ログ情報には、起動直後からメモリ上に蓄積されているログの内容が、最新のものから順に表示されます。

お知らせ

局側装置によっては、本商品起動時点を0時とする相対時刻で表示されている場合があります。この場合は、「4-6 時刻設定」（☞ p.50）を実施してください。

お知らせ

時刻設定が行われるまでに再起動を繰り返した場合、1970年を起点とした日時でログが残ることがありますが、異常ではありません。

お知らせ

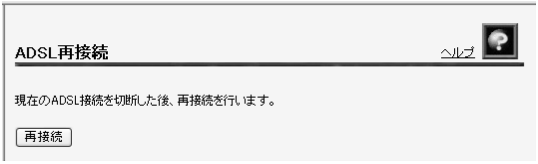
最大200件までのログが蓄積されます。
200件を越えると、古いものから順に削除されます。

4-11 ADSL再接続

ADSL 回線の速度が一時的なノイズなどで低下した場合に、ADSL 再接続を行うことにより、速度を回復できることがあります。

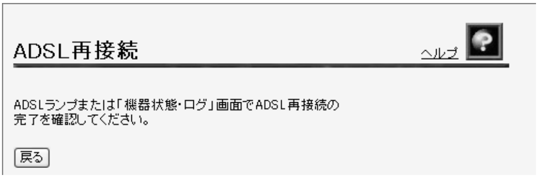
1 メニューフレームから、その他保守 → ADSL 再接続 をクリックしてください。

操作フレームに ADSL 再接続の画面が表示されます。



2 再接続 をクリックしてください。

ADSL 再接続中の画面が表示され、ADSL 回線の再接続が行われます。



3 ADSL 回線の再接続完了を確認してください。

お知らせ

ADSL回線の再接続終了後も、特に画面の表示に変化はありません。
ADSLランプで“接続”状態が確認できたら、機器状態・ログ をクリックし［ADSL回線状態］が「通信中」であることを確認してください。

4-12 再起動

本商品では、Web ブラウザから本商品の再起動を行うことができます。

1 **メニューフレームから、再起動 をクリックしてください。**

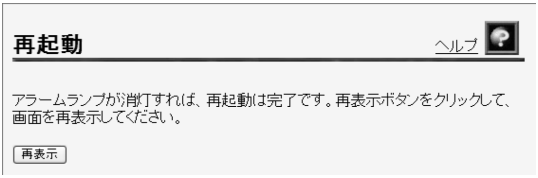
操作フレームに再起動画面が表示されます。



お知らせ
設定を保存し再起動が完了した時点で、設定した内容に従って本商品が動作します。

2 **再起動 をクリックしてください。**

本商品の再起動中の画面が表示され、本商品が再起動します。



お知らせ
再起動中には、Webブラウザで本商品にアクセスすることはできません。

3 **アラームランプが消灯すれば、再起動は完了です。再表示 をクリックしてください。**

ADSL ランプ、LAN ランプが緑色に点灯すれば、インターネットへのアクセスが可能となります。

設定内容の記録

設定内容を記録されると、設定内容を知りたい時やトラブル対応時に役立てることができます。

項　目	設定内容
ADSL設定（4-3 ADSL設定（☞ p.39））	
上り拡張	自動設定　・　拡張しない
オーバーラップ(OL)	自動設定　・　使用しない
ADSL接続モード	自動設定 拡張自動設定(下り優先) 拡張自動設定(上り優先) Quad固定(超近距離) G.dmt固定(近距離) G.dmt固定(中距離) 長延化モード G.lite固定
IP設定（4-4 IP設定（☞ p.45））	
モデム用IPアドレス/マスク長	.　.　.　/
DHCPサーバ機能	使用する　・　使用しない
開始IPアドレス	.　.　.
割当て個数	
リース期間	
IPパケット	通す　・　通さない
ログインパスワード（4-5 ログインパスワードの設定（☞ p.48））	
ユーザ名	
パスワード	

5 付録

5-1 故障かなと思ったら

トラブルが発生した場合には、以下の点を確認して障害箇所を明確にしてから、本章をお読みください。

- 本体前面にあるランプの点灯、点滅状態を確認する。（以下の確認手順を参照のこと）
- Web ブラウザから本商品へアクセスができることを確認する。
- ホームページへアクセスできることを確認する。
- 電話機やファクスなどが使用できることを確認する。

本商品の前面ランプの確認手順

確認（「はい」の場合は次へ）	「いいえ」の場合
電源ランプが点灯していますか？	電源アダプタ(電源プラグ)の接続を確認してください。 （☞「現象：電源ランプ（緑色）が点灯しない」 p.63）
アラームランプが消灯していますか？	点滅しているときは、機器の故障が考えられます。 （☞「現象：アラームランプ（赤色）が点滅する」 p.64）
ADSLランプが点灯していますか？	電話機コードの接続を確認してください。 （☞「現象：ADSLランプ（緑色）が点灯しない」 p.63） （☞「現象：ADSLランプ（緑色）が点滅を繰り返す」 p.63） （☞「現象：TESTランプ（橙色）とADSLランプ（緑色）が同時に点滅する」 p.64）
INITランプが消灯していますか？	初期設定で起動しています。 （☞「現象：INITランプ（橙色）が点滅する」 p.63）
LANランプが点灯していますか？	LANケーブルの接続を確認してください。 （☞「現象：LANランプ（緑色）が点灯しない」 p.64）
TESTランプが消灯していますか？	ADSL接続の拡張自動設定機能が実行中です。 （☞「現象：TESTランプ（橙色）とADSLランプ（緑色）が同時に点滅する」 p.64）

本商品は正しく動作しています。

現象:電源ランプ(緑色)が点灯しない

原因：本商品に電源が供給されていません。

対処：電源アダプタ（電源プラグ）が本商品に接続されていることを確認してください。

対処：電源アダプタ（電源プラグ）が電源コンセントに確実に接続されていることを確認してください。

対処：電源コンセントに電源が来ている（通電している）ことを確認してください。

対処：本商品用の電源アダプタ（電源プラグ）であることを確認してください。

現象:ADSL ランプ(緑色)が点灯しない

原因：電話局側の ADSL 信号が検出できません。

対処：ADSL サービスが開始されていることを確認してください。または、ADSL サービスにご加入された電話回線に接続されていることを確認してください。

原因：電話回線が正しく接続されていません。

対処：ＡＤＳＬスプリッタの MODEM ポート（黒色）と、本商品の ADSL 回線ポート（黒色）が、電話機コード（黒色）で正しく接続されていることを確認してください。

対処：ＡＤＳＬスプリッタの LINE ポート（白色）と壁などのモジュラジャックが、ＡＤＳＬスプリッタの電話機コード（白色）で正しく接続されていることを確認してください。

現象:ADSL ランプ(緑色)が点滅を繰り返す

原因：ADSL リンクの確立（トレーニング）を行っています。（1 秒周期で点滅）

対処：電話回線が確実に接続されていることを確認してください。

対処：スプリッタを使用している場合は、正しく接続されていることを確認してください。

原因：ADSL 接続の拡張自動設定機能が実行中です。（この場合は、TEST ランプ（橙色）も同時に点滅しています。）

対処：ADSL 接続の拡張自動設定が完了するまで（最大 20 分程度）お待ちください。

原因：電話機コードにノイズが加わりやすくなっています。

対処：電話機コードに、他の電線がからまないようにしてください。

原因:ADSL 接続モードがご使用の環境により、局側装置と接続できない設定になっています。

対処：ADSL 接続モードを「自動設定」にしてください。

現象:ADSL ランプ(緑色)が不定期に点滅を繰り返す

原因：ADSL 側で通信が発生した場合は一瞬消灯します。

対処：トラブルではありません。

現象:INIT ランプ(橙色)が点滅する

原因：初期設定で起動しています。

対処：ADSL のトレーニングが始まったり、設定を変更すると消灯します。セキュリティ上の観点から、初期設定（特に、ログインパスワード設定）を変更してご使用されることを推奨します。

現象:TEST ランプ(橙色)と ADSL ランプ(緑色)が同時に点滅する

原因：ADSL 接続の拡張自動設定機能が実行中です。

対処：ADSL 接続の拡張自動設定が完了するまで（最大 20 分程度）お待ちください。

現象:LAN ランプ(緑色)が点灯しない

原因：LAN ポートが正しく接続されていません。

対処：背面の LAN ポートは、付属している LAN ケーブル（ストレート）でパソコンと直接接続できる仕様になっています。ハブなどと接続する場合は、ハブのアップリンクポートに接続するか、または別売りのクロスケーブルで接続してください。

対処：LAN ケーブルが正しく接続されていることを確認してください。

現象:LAN ランプ(緑色)が不定期に点滅を繰り返す

原因：LAN 側で通信が発生した場合は点滅します。

対処：トラブルではありません。

現象:アラームランプ(赤色)が点滅する

原因：本商品の故障が考えられます。

対処：お買い求めになった販売店、またはサービス取扱所にご相談ください。なお、電源投入時にはアラームランプが一時的に点灯します。

現象:ログインのためのユーザ名、パスワードを忘れた

対処：本商品の初期設定のユーザ名は「user」、パスワードは「user」です。
「5-2-1 初期設定での起動方法」（☞ p.67）を参照し、初期値に戻して起動してからアクセスし、もう一度、ユーザ名、パスワードの設定を行ってください。

現象:本商品の IP アドレスを忘れた

対処：本商品の DHCP サーバ機能をご使用の場合には、「http://ntt.setup/」でアクセスができます。DHCP サーバ機能を使用していない場合に本商品の IP アドレスを忘れてしまった場合は、「5-2-1 初期設定での起動方法」（☞ p.67）を参照し、初期値(192.168.116.1)に戻してからアクセスし、もう一度、本商品の設定を行ってください。

現象：Web ブラウザで本商品へのアクセスができない

原因：パソコンに適切な IP アドレスが割り当てられていません。

対処：パソコンの IP アドレスを確認し、適切でなければ IP アドレス情報を更新してください。「3-2 IP 設定の確認」（☞ p.30）

対処：本商品の他に DHCP サーバが存在する場合は、本商品もしくは該当装置の DHCP サーバ機能を停止してください。

原因：本商品が起動中（セルフテスト中）です。

対処：モデムの起動を確認してから、再度アクセスしてください。

原因：Web ブラウザが正しく設定されていません。

対処：お使いの Web ブラウザがプロキシを使用しない設定になっていることを確認してください。

対処：お使いの Web ブラウザが JavaScript を使用する設定になっていることを確認してください。

原因：本商品との通信ができない状態になっています。

対処：本商品を再起動してください。

対処：パソコンを再起動してください。

現象：http://ntt.setup/でアクセスできない

原因：本商品がパソコンに指定されている DNS サーバアドレスとして指定されていません。

対処：パソコンの IP アドレスや DNS サーバアドレスを、本商品の DHCP サーバ機能を使って取得してください。
（手動で IP アドレスを設定する場合や、本商品以外の DHCP サーバ機能を使って IP アドレスを取得する場合は、本商品に設定したモデム用 IP アドレスでアクセスしてください。）

現象：インターネットへアクセスできない

原因：PPP リンクが確立していません。

対処：パソコンで、フレッツ接続ツールなどの PPPoE によるインターネットへの接続操作が実行されていることを確認してください。

対処：フレッツ・ＡＤＳＬ対応ルータをご使用の場合は、ルータの設定が正しく行われていることを確認してください。

対処：本商品の電源を切ったり、ADSL リンクが切断されたりして PPPoE が強制的に切断されると、しばらくの間、PPP リンクが再確立できない場合があります。
10 分間程度お待ちください。

原因：接続先との通信ができない状態になっています。

対処：本商品を再起動してください。

対処：パソコンを再起動してください。

現象：インターネットへのアクセスが遅くなった

原因：接続先のサーバが混んでいる可能性があります。

対処：しばらく時間をおいてから、アクセスしてください。

原因：接続先のプロバイダやインターネット上の経路が、他の通信で混んでいる可能性があります。

対処：しばらく時間をおいてから、アクセスしてください。

原因：ADSL 回線がノイズの発生などの外乱を受け、リンク速度が低下している可能性があります。

対処：Web ブラウザメニューにある「ADSL 再接続」を適宜、実行してください。

原因：LAN ポートに接続されたパソコンやハブの伝送方式が正しく設定されていません。

対処：パソコンやハブ側のインタフェース設定を、100Mbps 半二重固定モードや 10Mbps 半二重固定モードにしてください。

現象：フレッツ・オフィスまたはフレッツ・グループなどで使用するプライベートネットワークへアクセスできない

原因：192.168.116.1 の IP アドレスが、フレッツ・オフィスまたはフレッツ・グループなどで使用するプライベートネットワークで使用されています。

対処：本商品のモデム用 IP アドレスを、プライベートネットワークで使用されていない IP アドレスに変更してください。

現象：電話からのノイズが著しくなった

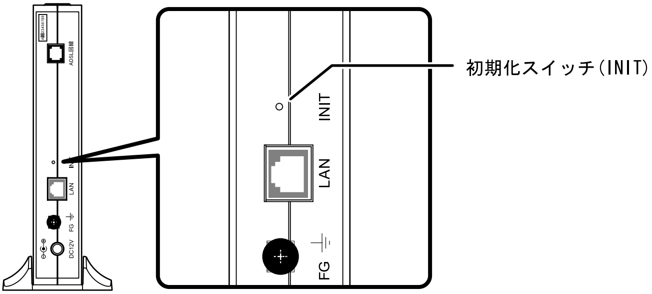
対処：本商品、スプリッタおよび電話機が正しく接続されていることを確認してください。

5-2 初期化方法

5-2-1 初期設定での起動方法

本商品に設定した内容(本商品に設定したモデム用 IP アドレスや､ユーザ名、パスワード) を忘れてしまい､本商品へのアクセスができなくなった場合は、初期設定に戻して起動することにより、本商品へアクセスできるようになります。

1 本商品に電源を入れた状態で、本体背面にある初期化スイッチ（INIT）を前面の ADSL、INIT、LAN、TEST およびアラームの各ランプが点滅するまで約 5 秒間押してください。



本商品のフラッシュメモリに書き込まれている設定情報を初期化して、初期設定で再起動します。

お願い

初期設定をフラッシュメモリに書き込んでから再起動します。設定の書き込み中は、前面のADSL、INIT、LAN、TESTおよびアラームの各ランプが点滅します。再起動するまで本商品の電源を切らないようにしてください。フラッシュメモリへの書き込み中に電源を切ると、本商品が動作しなくなります。

お知らせ

初期設定で起動した場合は、INITランプが橙色に点滅します。（ADSLのトレーニングが開始されると、消灯します。）

お知らせ

本商品に設定するユーザ名やパスワードは重要な個人情報です。情報を盗まれると悪用される可能性がありますので、情報の管理には十分お気をつけください。本商品を当社に返却したり廃棄したりする場合など、本商品の利用をやめる際には、必ず初期化を行い、設定された情報を消去してください。

5-2-2　初期設定内容一覧

本商品の初期値は以下の通りです。「4-8 設定の初期化」（☞p.55）を行った場合や、初期化スイッチ（INIT）を押して初期設定で起動（☞p.67）すると、それまで使用していた設定は消去され、以下の設定で起動するのでご注意ください。

項　目	設定内容
上り拡張	自動設定
オーバーラップ(OL)	自動設定
ADSL接続モード	自動設定
モデム用IPアドレス/マスク長	192.168.116.1/24
DHCPサーバ機能	使用する
開始IPアドレス	192.168.116.2
割当て個数	16
リース期間	60
IPパケット	通す
ユーザ名	user
パスワード	user

お知らせ

時刻設定の内容は、電源を切らない限りは初期化されません。

5-3 バージョンアップ

本商品は、ファームウェアをバージョンアップすることにより、機能強化を図ることができます。
バージョンアップファームウェアは、当社の通信機器商品のご案内ホームページにアップロードしていく予定です。ダウンロード方法など、詳しくは、以下のホームページを参照してください。

当社のホームページ　http://www.ntt-east.co.jp/ced/　（ＮＴＴ東日本）
　　　　　　　　　　　http://www.ntt-west.co.jp/kiki/　（ＮＴＴ西日本）

バージョンアップファームウェアをダウンロードしたあとで、以下の操作を行います。

STOP お知らせ

使用している画面表示は、ご使用の Web ブラウザや OS のバージョンによって異なりますが、手順や、入力する内容は変わりません。

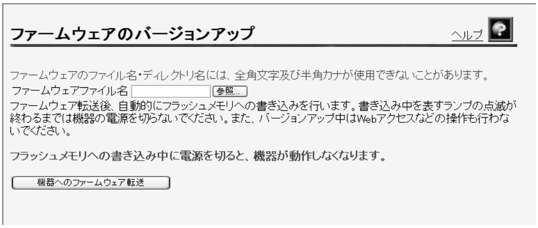
1 提供されたファームウェアファイルをパソコン上の適当なディレクトリ（フォルダ）に置いてください。

お知らせ

ファームウェアファイルのディレクトリ（フォルダ）名には半角英数記号文字を使用し、全角文字および半角カナを使用しないでください。
ファームウェアのバージョンアップができないことがあります。

2 メニューフレームの、バージョンアップ をクリックしてください。

操作フレームにファームウェアのバージョンアップの画面が表示されます。

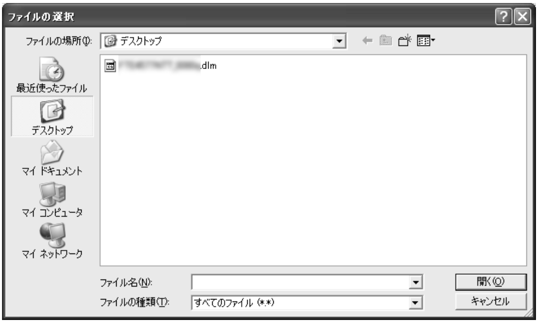


3 ファームウェアファイル名を指定してください。

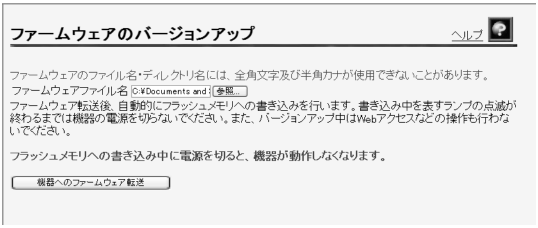
① 参照… をクリックしてください。
ファイル選択画面が表示されます。

②「ファイルの種類(T)」欄に「すべてのファイル(*.*)」を指定し、ファームウェアファイルを置いたディレクトリ（フォルダ）に移動してください。

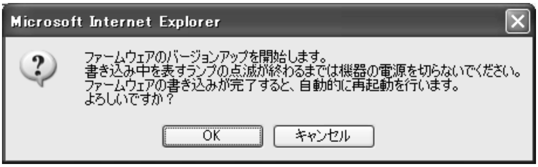
③ファームウェアファイルを選択し、 開く(O) をクリックしてください。



ファームウェアファイル名欄にファイル名が表示されます。

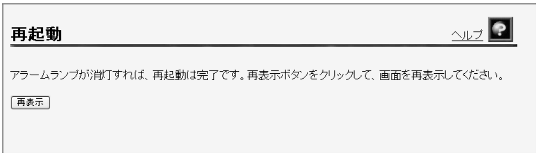


4 機器へのファームウェア転送 をクリックしてください。



継続する場合は、 OK をクリックしてください。

本商品へのファームウェア転送が行われ、完了すると自動的に再起動します。



お願い

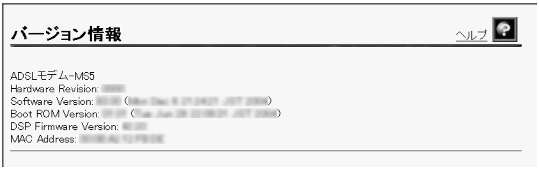
ファームウェアをフラッシュメモリに書き込みます。書き込み中は、前面のADSL、PPPおよび、アラームの各ランプが点滅します。ランプの点滅が終わるまでは、本商品の電源を切らないようにしてください。フラッシュメモリへの書き込み中に電源を切ると、本商品が動作しなくなります。

お知らせ

本商品には、補助記憶装置としてフラッシュメモリを内蔵しています。各種設定内容（時刻設定を除く）やファームウェアは、フラッシュメモリに書き込むことで電源供給が途切れても内容が保持されます。

5 本商品の再起動が完了したら、メニューフレームの バージョン情報 をクリックしてください。

操作フレームにバージョン情報の画面が表示されます。



5-4 仕様一覧

ADSLモデムーMS5

項　目		仕　様
ADSL インタフェース	ポート数	1ポート
	準拠規格	Quad Spectrum方式 ITU-T G.992.1 Annex I / Annex C ITU-T G.992.2 Annex C （※）
	物理インタフェース	RJ-11コネクタ
LAN インタフェース	ポート数	1ポート
	準拠規格	100BASE-TX / 10BASE-T（IEEE802.3u / IEEE802.3）
	MDI/MDI-X	MDI-X固定　パソコンとストレートケーブルにて直接接続できる設定（クロス設定）
	通信速度	100Mbps / 10Mbps
	伝送方式	全二重 / 半二重
	物理インタフェース	RJ-45コネクタ
電　源		外付けAC電源アダプタ方式
消費電力		8W以下
外形寸法（mm）		約 82(W)×165(D)×215(H)（突起部を除く）
質　量		約 500g
動作温度		5～40℃
動作湿度		5～85%（結露なきこと）
情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）		クラスB情報技術装置

本商品のOSには米国Wind River Systems, Inc.のVxWorksを採用しています。
※上り拡張方式、オーバーラップ方式にも対応しています。

電源アダプタ

項　目	仕　様
外形寸法（mm）	約 56(W)× 74(D)× 48(H)　（突起部を除く）
質　量	約 470g
電　源	AC100±10V（50/60±1Hz）
出力電圧	DC12V

ADSLスプリッタ

項　目	仕　様
収容回線	1回線
外形寸法（mm）	約 43(W)× 58(D)× 24(H)　（突起部は除く）
質　量	約 50g
動作温度	5～40℃
動作湿度	5～85%（結露なきこと）

スプリッタセットに付属しています。

5-5 用語集

A～Z

ADSL（Asymmetric Digital Subscriber Line）

電話局から各家庭や事業所まで引かれている、銅線の加入者電話回線（Subscriber Line）を利用して、数Mbpsの高速データ通信を可能にする通信方式。

ADSLリンク

ADSLによる電話局から各家庭や事業所に置かれたモデムまでの間の通信経路。

Annex C（G.992.1 G.992.2 Annex C）

G.992.1（G.dmt） G.992.2（G.lite） の日本仕様（北米仕様：Annex A、欧州仕様：Annex B）。ADSLの通信規格であるITU-T G.992.1とITU-T G.992.2をそのまま日本国内で使用すると、ISDNからのノイズによりリンク速度や伝送距離の低下が起こることがあるため、それらの問題を解決するための追加仕様。
ISDNからのノイズを考慮して、ISDNのピンポン伝送の周期に同期してリンク速度を変化させる技術。

Annex I（G.992.1 Annex I）

G.992.1 Annex C で使用している伝送周波数帯域の拡張などにより、下り最大20Mbps 以上のリンク速度を実現させるための技術。

bps（bit per second）

データ伝送速度の単位。一秒間に伝送されるビット数。「bit/s」と表示されることもあります。

DHCP（Dynamic Host Configuration Protocol）

通信機器に対して、IPアドレスやサブネットマスクなどのネットワーク設定を自動的に割り当てるための機能。

DHCPサーバ

DHCP機能を持つサーバ。

参考 DHCP（Dynamic Host Configuration Protocol）

DNS（Domain Name System）

インターネット上で、各コンピュータ端末が持つホスト名から、その端末のIPアドレスを検索するためのシステム。

DNSサーバ（ドメインネームサーバ、ネームサーバ）

DNS機能を持つサーバ。

Ethernet（イーサネット）

米国XEROX社によって開発されたLANの通信方式。IEEE802.3で規定されたCSMA/CD方式と同等な通信手段。使用するケーブルやリンク速度によって「10BASE-T」「100BASE-TX」という呼び方もある。常時双方向の通信が可能な「全二重」と、送信と受信を交互に切り替える「半二重」がある。

FBMsOL（FBM shaped Over Lap）

G.992.1では上りの伝送として使用されるように定義されている周波数領域を下りの伝送にも使用することにより、遠距離において、下りの伝送速度を向上させるための技術。

G.992.1規格（G.dmt）

ITU-Tで決められた加入電話用のADSL規格。最大リンク速度は、上り640kbps、下り6144kbpsと決められていたが、仕様の拡張により、それ以上のリンク速度でADSL回線を使用することができる。

G.992.2 規格（G.lite）

ITU-T で決められた加入電話用の ADSL 規格。最大リンク速度は、上り 512kbps、下り 1536kbps。

IP アドレス

TCP/IP を使ったネットワーク上に接続されたコンピュータなどを 識別するためのアドレス。32bit の値を持ち、8bit ずつ 10 進法で表現した数値を、ピリオドで区切って表現する。(例:192.168.1.1)

参考 グローバル IP アドレス、プライベート IP アドレス

ITU-T（International Telecommunication Union-Telecommunication standardization sector）

ITU（国際電気通信連合）の電気通信標準化部門。通信関連の標準化を定める国際機関。ITU-T が作成する標準化勧告を ITU-T 勧告と呼ぶ。

LAN（Local Area Network）

会社、組織、学校、工場、ビル、フロアなど、ある限定された範囲に敷設されたコンピュータ通信のためのネットワーク。距離、伝送路、トポロジ、プロトコルの明確な定義はないが、一般的には伝送距離が数 m〜数十 km、リンク速度は 1M〜数 Gbps 程度である。

ケーブルや無線などの伝送媒体を複数のコンピュータで共用し、互いに独立した通信を実行できる。

参考 WAN（Wide Area Network）

LD-TIF（Long Distance - TCM ISDN Friendly）

FBMsOL と同様に、G.992.1 では上りの伝送として使用されるように定義されている周波数領域を下りの伝送にも使用する。FBMsOL と比べて、遠距離通信時に使用される低域周波数帯の電力を高め、遠距離通信時の下り速度向上をはかっている。

PPP（Point to Point Protocol）

シリアルラインを使って通信するためのデータリンク層プロトコル。

リンク状態（使用しているモデムや回線の状態）に応じた再接続、両端で使用する IP アドレスの自動的なネゴシエーション、認証機能などを持つ。

PPPoE（PPP over Ethernet）

Ethernet 上で PPP のパケットを使用して、Ethernet に接続したパソコンなどから直接 PPP 接続を行うためのプロトコル。

Quad Spectrum 方式

G.992.1 Annex C で使用している伝送周波数帯域の拡張などにより、下り最大 40Mbps 以上のリンク速度を実現させるための技術。

WAN（Wide Area Network）

建物や敷地を越える遠隔地の間を接続するためのネットワーク。広域網とも呼ばれる。LAN の対比語として用いられることが多い。

参考 LAN（Local Area Network）

Web ブラウザ

インターネット上でホームページを見る時に使用するアプリケーション。Internet Explorer などがよく使用されている。

[あ]

インターネット

世界中に張り巡らされたコンピュータ通信のための通信網。

インターネットサービスプロバイダ

ADSL などの回線を通じてインターネットにアクセスするサービスを提供する業者のこと。プロバイダや ISP(Internet Service Provider)ともいう。

オートネゴシエーション（自動認識）

Ethernet の 10Mbps／100Mbps のリンク速度と、全二重／半二重の設定を自動的に選択する機能。本商品の LAN ポートは、オートネゴシエーションに対応している。

オーバーラップ

下りの伝送に使用している周波数帯域と上りの伝送に使用している周波数帯域を重複させて同時に使用することにより、従来以上の通信速度を実現する技術。

[か]

グローバル IP アドレス（Global IP Address）

NIC（Network Information Center）などの公的機関が割り当てる、インターネットアクセス時に必ず必要となる IP アドレスの別名である。閉じたネットワーク内部に限り自由に利用できるプライベート IP アドレスが登場したため、反意語としてグローバル IP アドレスと呼ばれるようになった。

参考 プライベート IP アドレス（Private IP Address）

クロスケーブル（cross cable）

機器どうしの接続のために、一方の出力信号線を他方の入力信号線に、また一方の入力信号線を他方の出力信号線にというように結線したケーブル。

参考 ストレートケーブル(straight cable)

ゲートウェイアドレス（ルータアドレス）

ネットワークにおいて、同一 LAN 上に存在しない機器や、（物理的、論理的を問わず）他のネットワークに対するデータ通信を行う場合、ゲートウェイと呼ばれる機器（通常はルータ）へデータを転送する。通常、各機器にゲートウェイを設定しておけば、そのゲートウェイが適宜ルーティングを行う。

[さ]

ストレートケーブル（straight cable）

両端にあるコネクタの同じピンどうしを接続したケーブル。

参考 クロスケーブル（cross cable）

スプリッタ

ADSL のデータ信号が電話機や電話交換機に流れ込んだり、電話の音声信号が ADSL モデムに流れ込んだりすることで発生する通信障害を防ぐ。一般にスプリッタはユーザ宅と通信事業者の収容局の両方に設置する。

スループット

パソコンとインターネット内のサーバとの間で、一定時間内に中継されるデータ量。

全二重／半二重（Full Duplex／Half Duplex）

受信と送信が片方向ずつの半二重通信（Half Duplex）に対して、受信と送信を同時に行うことで、既存のケーブル上で実質 2 倍の伝送速度を実現するのが全二重通信（Full Duplex）である。

[た]

トレーニング

ADSL で使用するデータ信号をモデムと局内装置の間で交換して、ユーザの環境に応じたリンク速度を決定するためのプロセス。

[な]

ネットマスク

IP アドレスからサブネットのネットワークアドレスを求める場合に使用するマスク値のこと。
IP アドレスとネットマスクの AND をとった結果が、サブネットアドレスになる。
ネットマスクは、通常は上位の側から連続してビットを立てた値を用い、たとえば 255.255.255.0 などとして、これをネットマスク長が 24 であると表現する。

[は]

バージョンアップ

ファームウェアを最新のものに変更すること。

ハブ

LAN ケーブルを集配するネットワーク接続機器で、複数の端末を同時に接続する場合に使用する。

半二重

参考 全二重／半二重（Full Duplex／Half Duplex）

ファームウェア

ご購入時から本商品に搭載されているソフトウェア。本商品ではフラッシュメモリに搭載されており、バージョンアップ時などにはお客様の操作にて書き換えることができる。

プライベート IP アドレス（Private IP Address）

RFC1597 で規定されている、組織内部だけに閉じた環境だけで通用される IP アドレス。組織内ではプライベート IP アドレスを利用し、インターネットにアクセスする場合だけ本来のユニークなアドレス（グローバル IP アドレス）を割り当てる方法が一般化している。
10.0.0.0～10.255.255.255、172.16.0.0～172.31.255.255、192.168.0.0～192.168.255.255 がプライベート IP アドレスとして規定されている。

参考 グローバル IP アドレス（Global IP Address）

ブラウザ

インターネット上でホームページを見る時に使用するアプリケーション。Internet Explorer や Netscape Navigator がよく使用されている。

フラッシュメモリ

電源を切っても内容を保持しておけるメモリチップ。

ブリッジ

データ中継装置の1つで、TCP/IPなどのプロトコルに依存しないデータ中継を行う装置。通信端末のMACアドレスを学習し、不要なトラフィックを自動的に廃棄する。

プロトコル

通信規約のことで、通信でデータの送受信を行うときに従うべき手順を定義したもの。

[ま]

モデム

パソコンが一般公衆回線などのアナログ回線を使用して通信を行うための装置。パソコンが扱うデジタル信号をアナログの回線で使用できるように変調およびその逆の復調を行う。

[ら]

リンク

リンクとは2つの機器間をつなぐ部分を指す。2つの機器間が通信可能な状態になることをリンクアップという。

リンク速度

一般にリンク速度とは、通信可能な2つの機器間にデータが流れる速度を示す。

ADSLのリンク速度は、モデムと局側装置の間でのトレーニング・プロセスによって決められる（上り、下りのリンク速度は非対称に決められる）が、モデムと局側装置の距離や、その間の電話回線に加わる外来ノイズの影響により左右される。

ルータ

データ中継装置の1つで、プロトコルに依存して、ネットワークアドレスに基づいてデータ中継を行う装置。プロトコル毎に決められているある手順に従ってネットワークの経路を学習し、最適な経路を使った中継を行うことができる。

ルータアドレス

参考 ゲートウェイアドレス

5-6 保守サービスのご案内

● お客様サポートについて

本商品について、不明な点などがございましたら、以下にお問い合わせください。

■　ＮＴＴ東日本エリア（新潟県、長野県、山梨県、神奈川県以東の各都道府県）でご利用のお客様

・本商品のお取り扱いに関するお問い合わせ

お問い合わせ先　：フリーアクセス ０１２０－９７０４１３

※年末年始　１２月２９日 ～ １月３日を除く毎日

・故障に関するお問い合わせ

お問い合わせ先　：フリーダイヤル ０１２０－２４２７５１（２４時間　年中無休※）

※故障修理等の対応時間は平日９：００～１７：００、
土・日・祝日及び年末年始１２月２９日 ～ １月３日は休業とさせていただきます。

■　ＮＴＴ西日本エリア（富山県、岐阜県、愛知県、静岡県以西の各府県）でご利用のお客様

・本商品のお取り扱いに関するお問い合わせ

お問い合わせ先　：フリーダイヤル ０１２０－１０９２１７

※土・日・祝日及び年末年始１２月２９日 ～ １月３日は休業とさせていただきます。

・故障に関するお問い合わせ

お問い合わせ先　：フリーダイヤル ０１２０－２４８９９５（２４時間受付　年中無休）

● 保証について

保証期間（1 年間）中の故障につきましては「保証書」の記載に基づき当社が無償で修理いたしますので「保証書」は大切に保管してください。
（詳しくは「保証書」の無償修理規定をご覧ください。）

お知らせ
レンタル品の場合、保証書は付属しておりません。

● 保守サービスについて

保証期間後においても､引き続き安心してご利用いただける｢定額保守サービス｣と、故障修理のつど料金を頂く「実費保守サービス」があります。
当社では安心して商品をご利用いただける定額保守サービスをお勧めしています。

定額 保守サービス	● 毎月一定の料金をお支払いいただき、故障時には当社が無料で修理を行うサービスです。
実費 保守サービス	● 修理に要した費用を頂きます。 （修理費として、お客様宅へおうかがいするための費用および修理に要する技術的費用・部品代を頂きます。） （故障内容によっては高額になる場合もありますのでご了承ください。） ● 当社のサービス取扱所まで商品をお持ちいただいた場合は、お客様宅へおうかがいするための費用が不要になります。

● 補修用部品の保有期間について

本商品の補修用性能部品（製品の性能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後、7 年間保有しています。

● 廃棄方法について

本商品を廃棄する時は､地方自治体の条例に従って処理してください。詳しくは各地方自治体にお問い合わせください｡

● 廃棄(または譲渡、返却)される場合の留意事項

本商品は、お客様固有のデータを登録または保持可能な商品です。商品内のデータ流出などの不測の損害などを回避するために、本商品を廃棄（または譲渡、返却）される際には、商品内に登録または保持されたデータを｢5-2-1 初期設定での起動方法」（☞ p.67）を元に消去くださいますようお願いいたします。

MEMO

この取扱説明書は、森林資源保護のため、再生紙を使用しています。

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報やバージョンアップサービスなどを提供しています。
本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。
当社ホームページ：　http://www.ntt-east.co.jp/ced/
http://www.ntt-west.co.jp/kiki/

本 2589-5（2005.2）
ADSL ﾓﾃﾞﾑ MS5 ﾄﾘｾﾂ